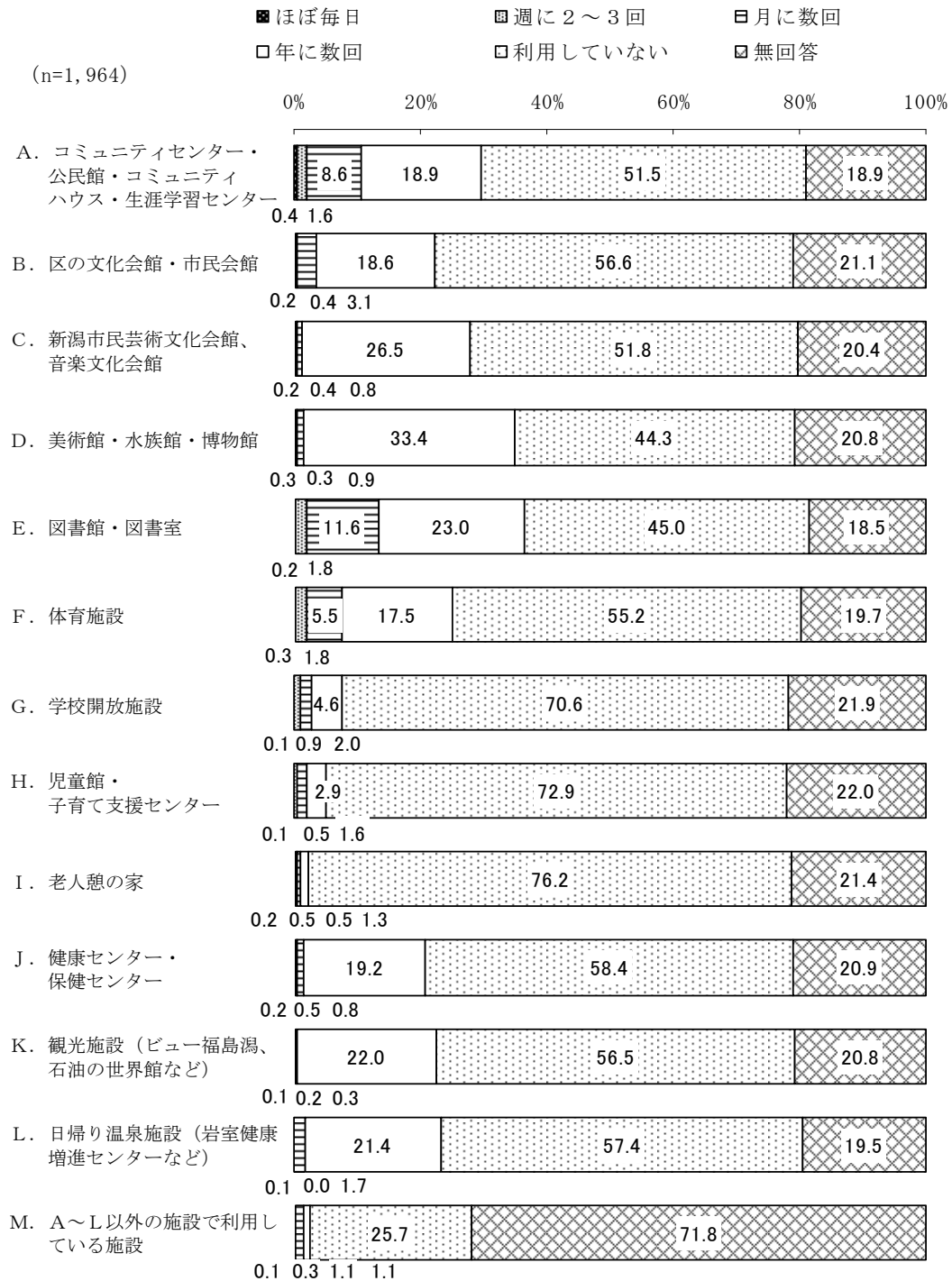


2. 市が所有する公共施設（建物等）について

(1) 市が所有する公共施設の利用頻度や交通手段

問22 あなたは新潟市が所有する公共施設（建物等）（以下、「施設」）について、

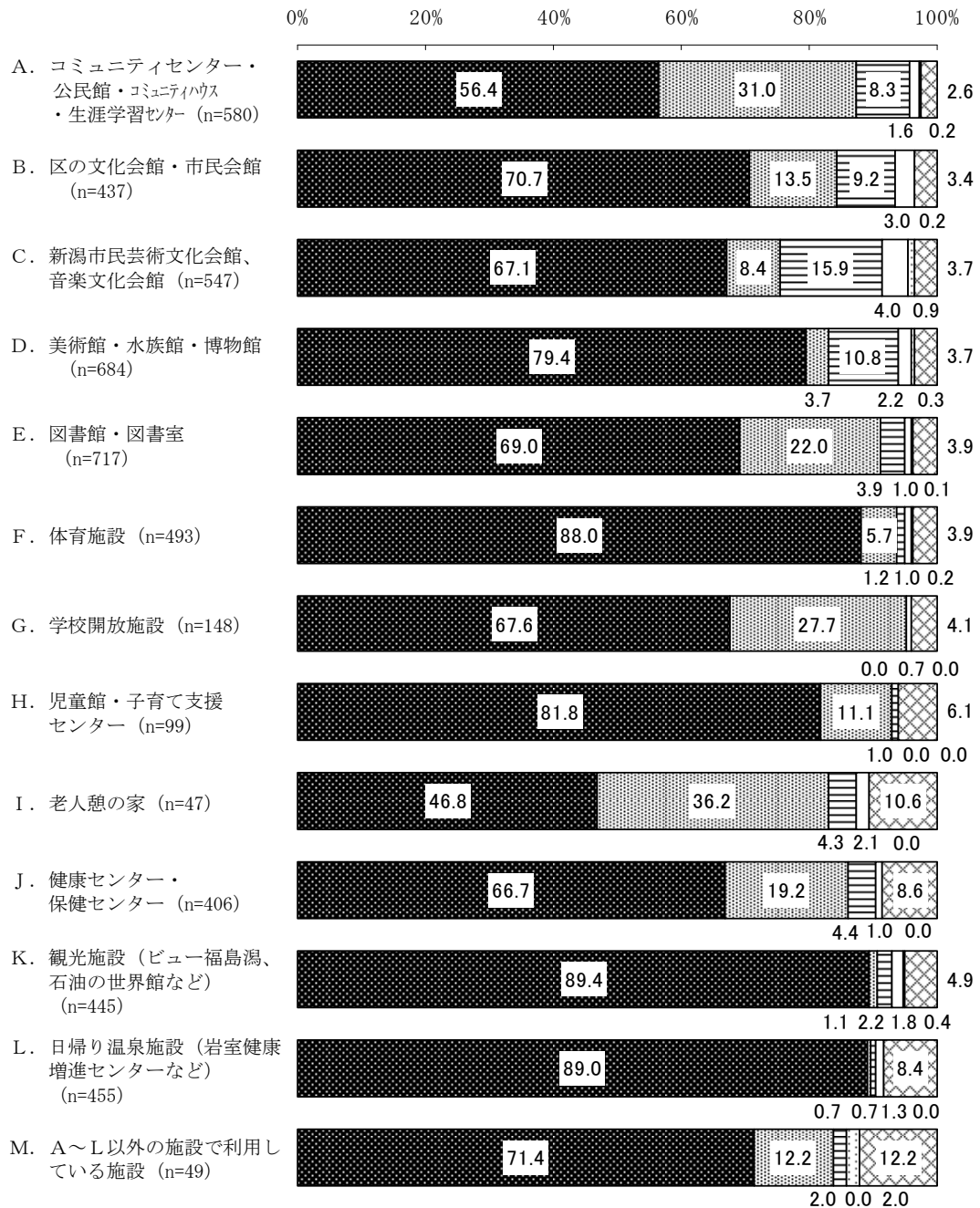
・最近1年間に何回くらい利用しましたか。（○は1つだけ）



問 2 2 あなたは新潟市が所有する公共施設（建物等）（以下、「施設」）について、

・施設へはどのような交通手段で行きましたか。（○は1つだけ）

■車・バイク ■徒歩・自転車 ■バス □電車 □タクシー □無回答



—— 「図書館・図書室」「美術館・水族館・博物館」の利用が高く、
施設へは「車・バイク」で行く人が多い ——

【全体結果】

市が所有する公共施設の利用頻度については、程度に差はあるが利用回数を合わせた割合で見ると、『E. 図書館・図書室』(36.5%)が最も高くなっている。次いで、あまり差がなく『D. 美術館・水族館・博物館』(34.8%)が続いている。以下、『A. コミュニティセンター・公民館・コミュニティハウス・生涯学習センター(クロスパル)』(29.5%)、『C. 新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)、音楽文化会館』(27.9%)、『F. 体育施設(体育館、プール、野球場、サッカー場、テニスコート、ゲートボール場など)』(25.1%)の順となっている。

また、利用回数で見ると、「月に数回」の割合は、『E. 図書館・図書室』(11.6%)が高く、次いで『A. コミュニティセンター・公民館・コミュニティハウス・生涯学習センター』(8.6%)となっている。「年に数回」の割合は、『D. 美術館・水族館・博物館』(33.4%)が最も高く、以下、『C. 新潟市民芸術文化会館、音楽文化会館』(26.5%)、『E. 図書館・図書室』(23.0%)、『K. 観光施設(ビュー福島潟、石油の世界館、白根大凧と歴史の館、岩室観光施設など)』(22.0%)、『L. 日帰り温泉施設(岩室健康増進センター、じょんのび館、小須戸温泉健康センター)』(21.4%)の順となっている。「ほぼ毎日」と「週に2~3回」の割合は、いずれの施設も低くなっている。

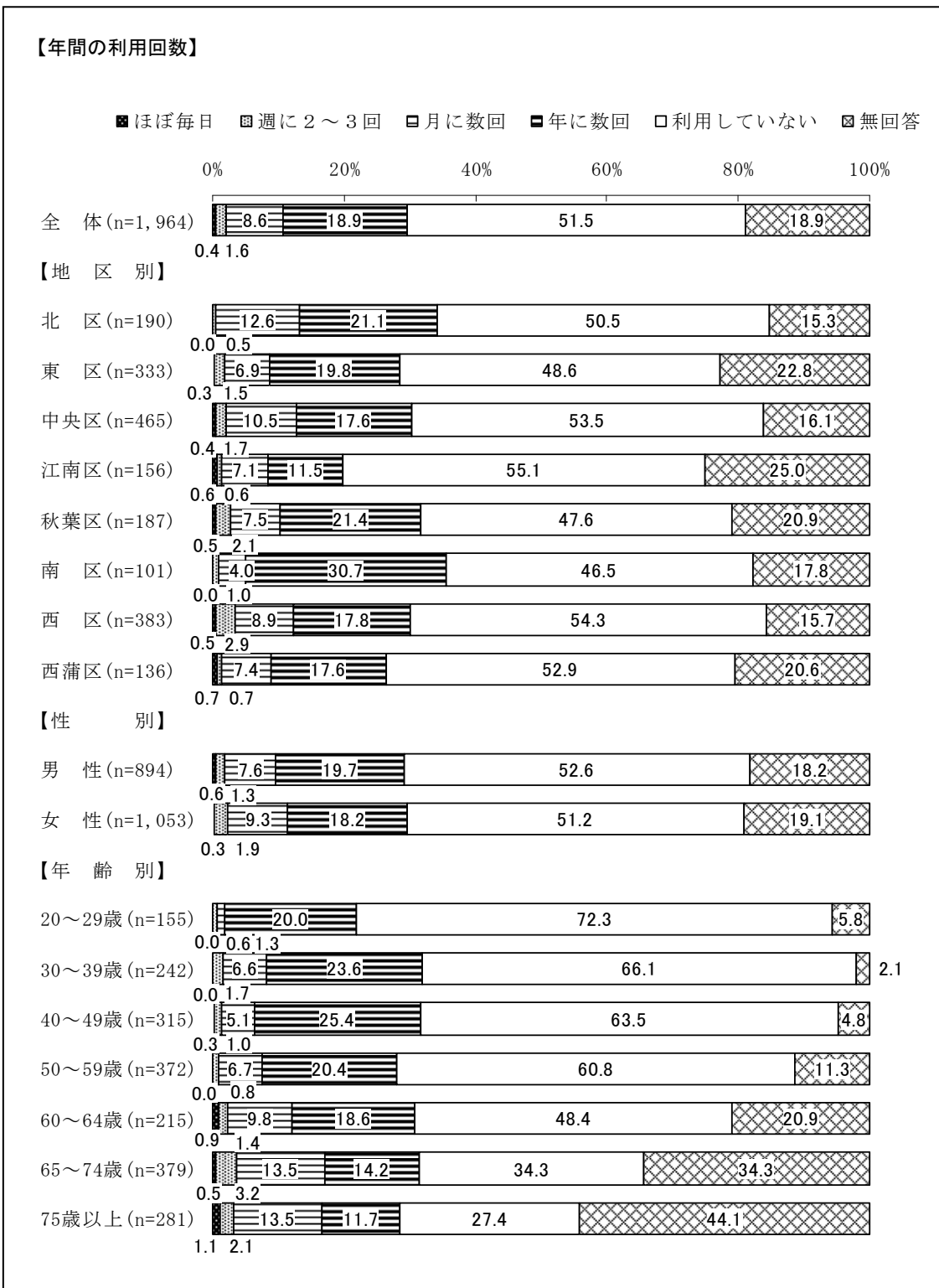
一方で、「利用していない」の割合は、『I. 老人憩の家』(76.2%)、『H. 児童館・子育て支援センター』(72.9%)、『G. 学校開放施設(小・中学校の体育館、教室、武道場、グラウンド)』(70.6%)が高く7割を超えている。

おもな交通手段については、いずれの施設も「車・バイク」で行くと回答した人が最も多くなっている。次いで「徒歩・自転車」の割合が高い施設が多くなっている。『C. 新潟市民芸術文化会館、音楽文化会館』、『D. 美術館・水族館・博物館』では「バス」の割合も高くなっている。

【属性別結果】

次ページ以降に公共施設の種類ごとの地区別・性別・年齢別の利用回数、交通手段の集計結果をまとめた。

① コミュニティセンター・公民館・コミュニティハウス・生涯学習センター

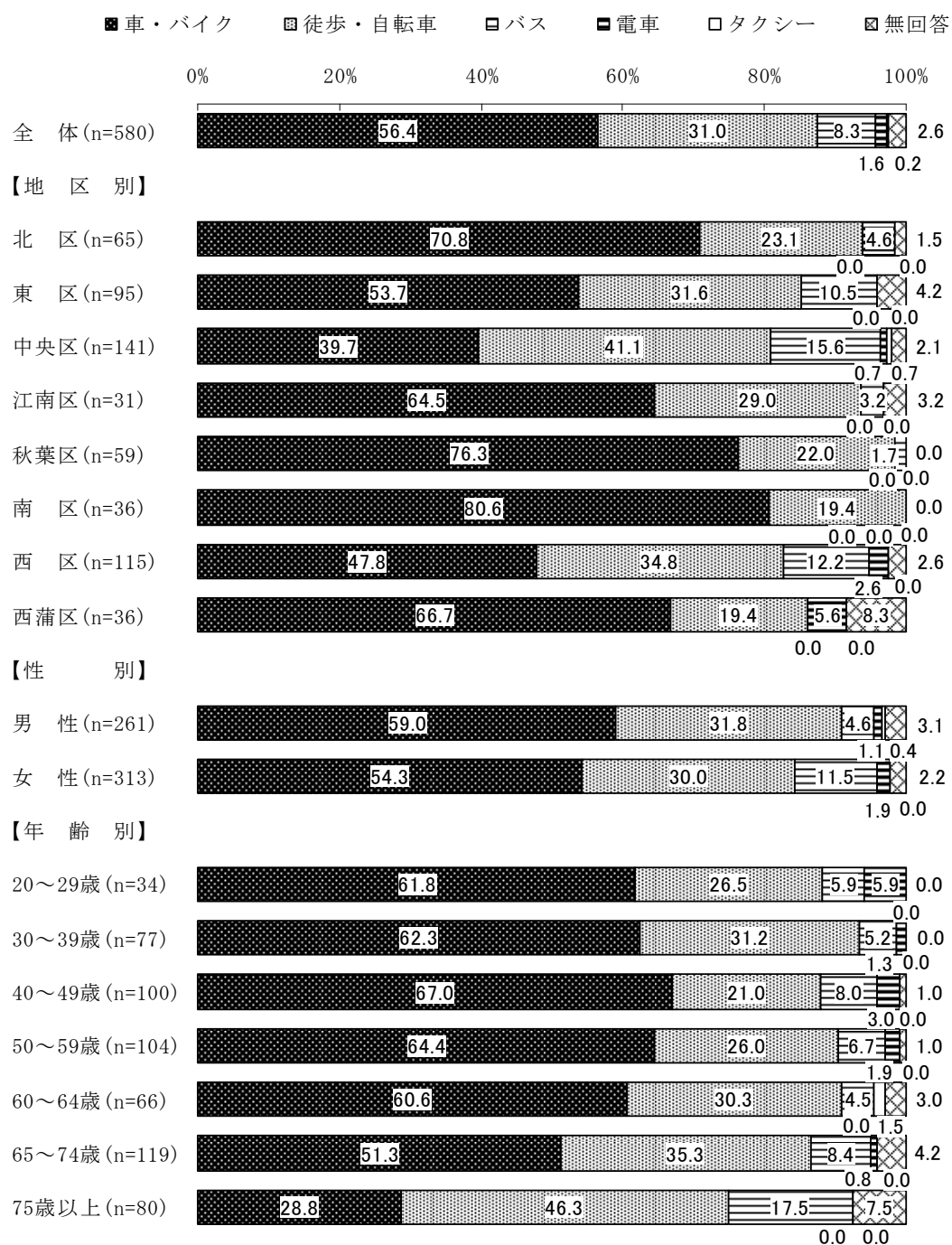


地区別では、「月に数回」の割合は、北区（12.6%）と中央区（10.5%）が1割を超えている。「年に数回」の割合は、南区（30.7%）が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「月に数回」の割合は、65～74歳と75歳以上（各13.5%）が1割を超えている。「年に数回」の割合は、40代（25.4%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

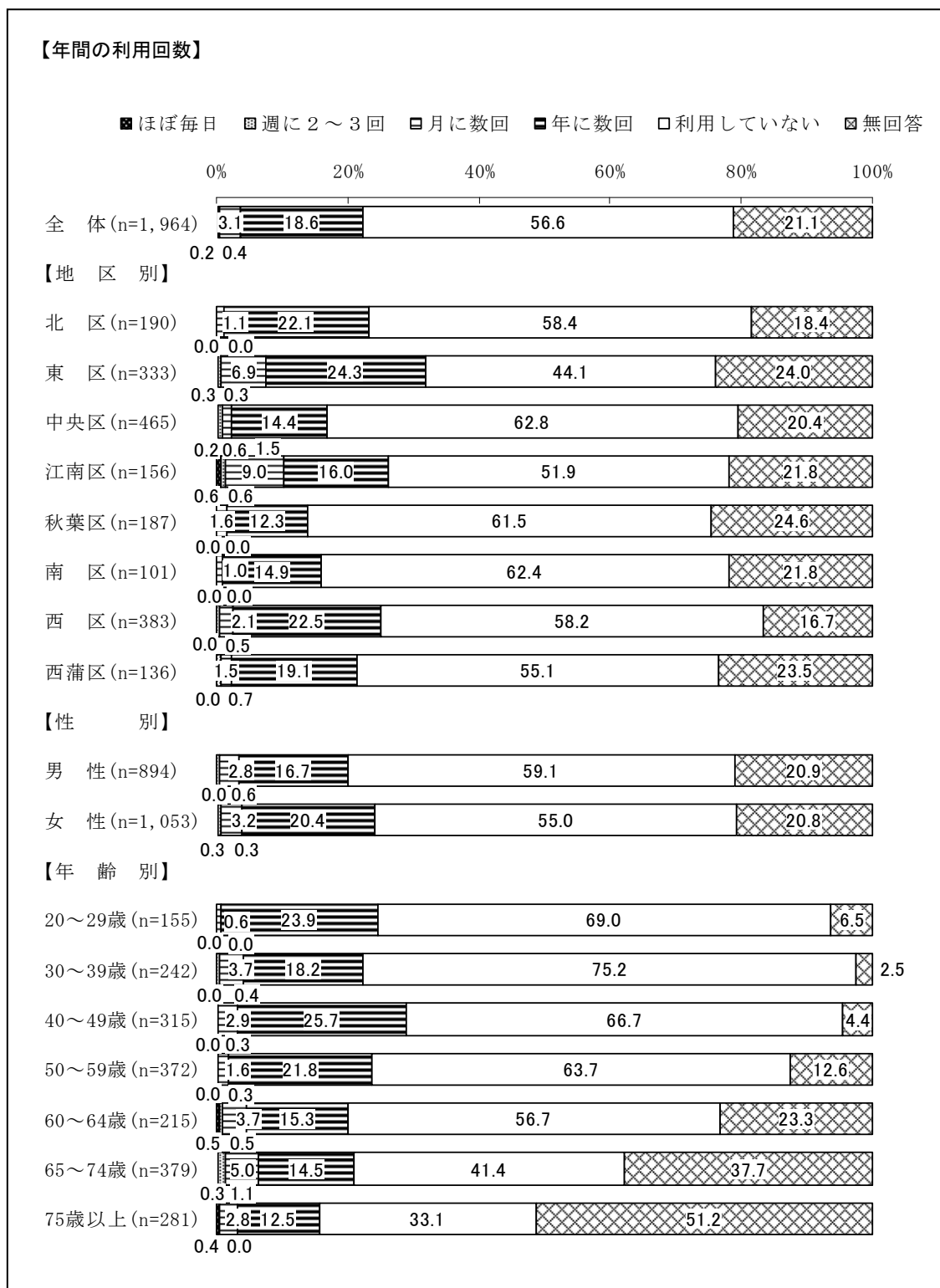


地区別では、中央区を除いて「車・バイク」の割合が最も高く、南区（80.6%）では8割を超えている。中央区では「徒歩・自転車」の割合が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、75歳以上を除いて「車・バイク」の割合が最も高くなっている。75歳以上では「徒歩・自転車」の割合が最も高くなっている。

② 区の文化会館・市民会館

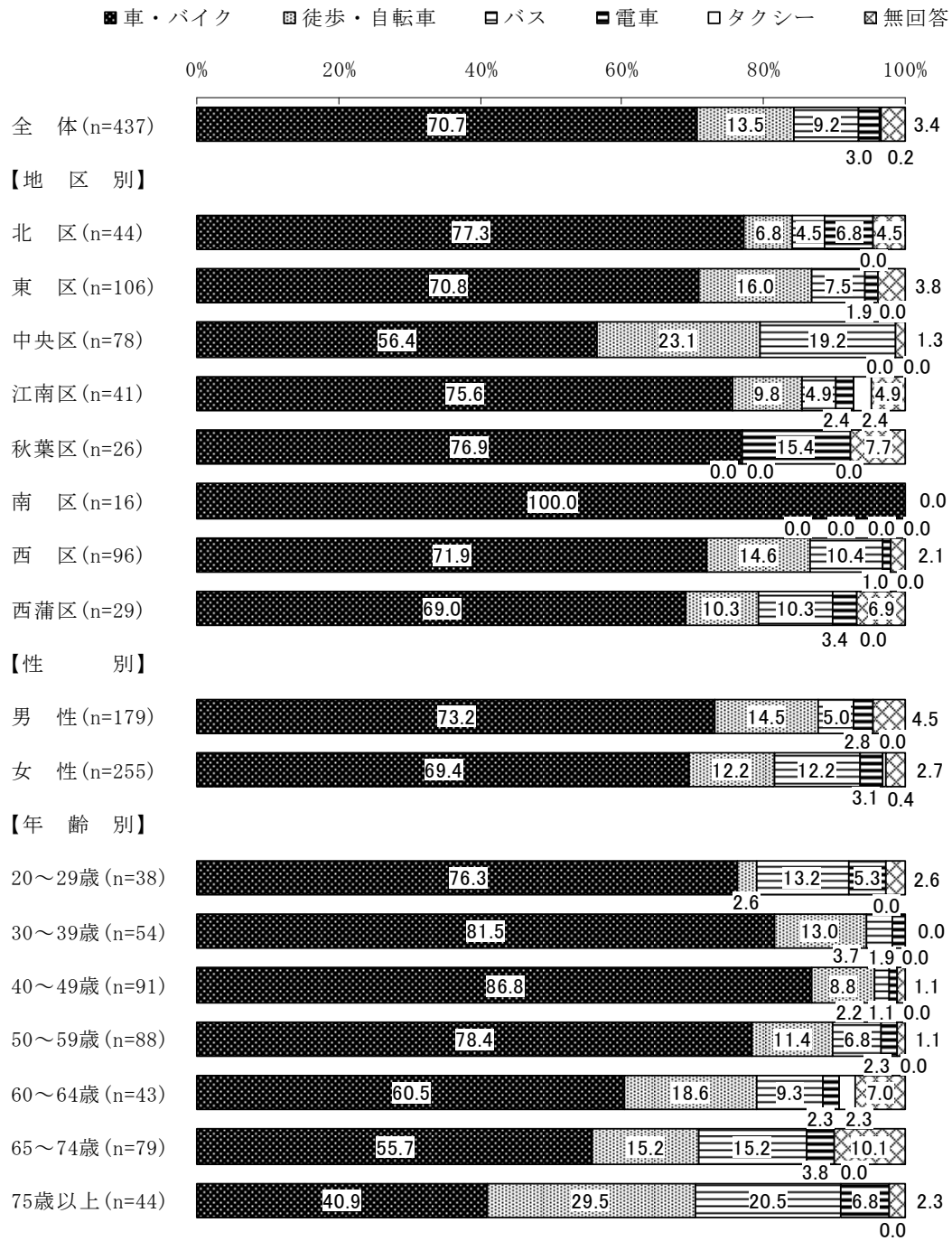


地区別では、「月に数回」の割合は、江南区（9.0%）が1割弱で最も高くなっている。「年に数回」の割合は、東区（24.3%）が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、40代（25.7%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

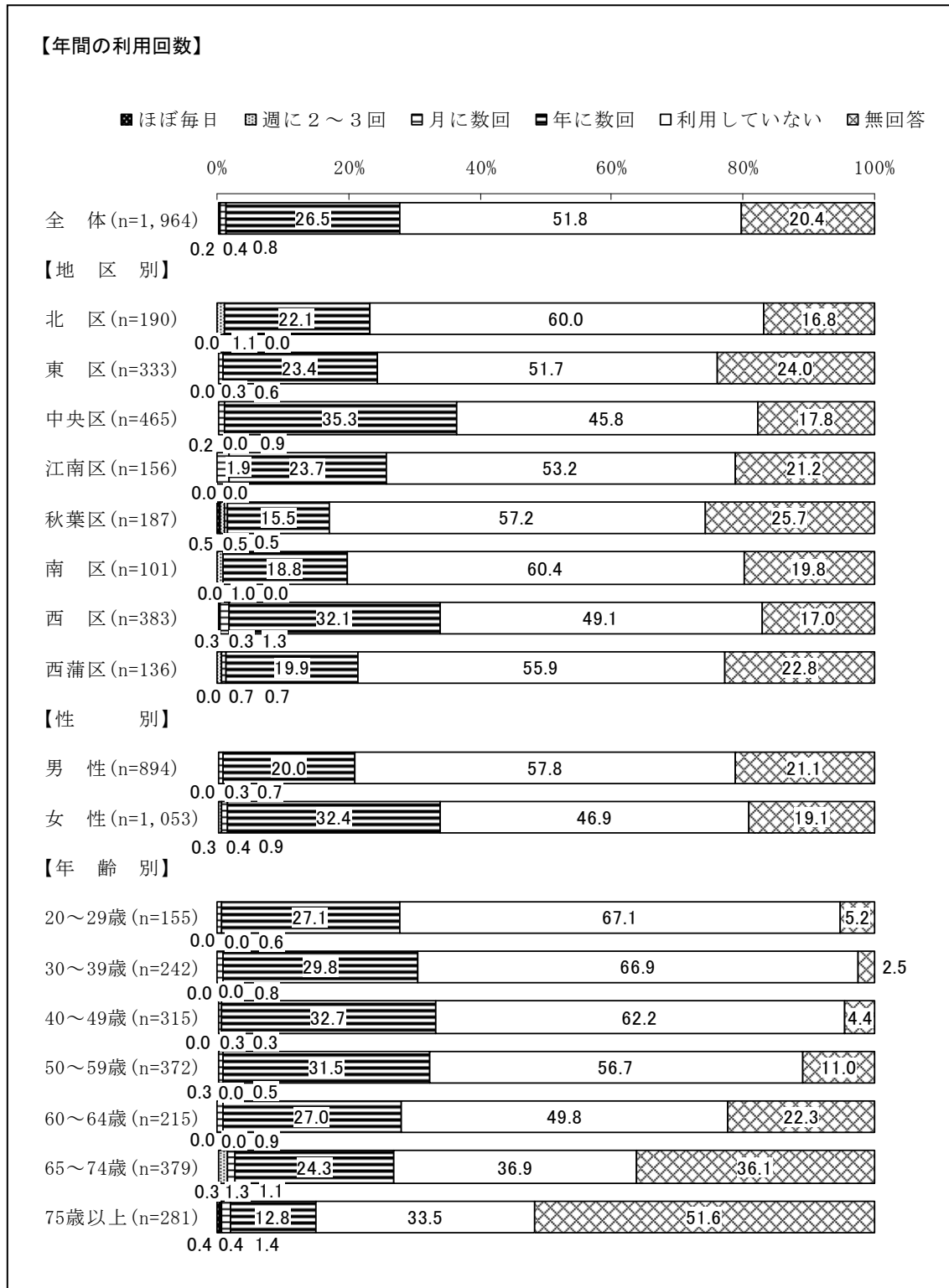


地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、南区では10割となっている。

性別では、「バス」の割合は、女性(12.2%)の方が男性(5.0%)よりも高くなっている。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く、40代(86.8%)と30代(81.5%)では8割を超えている。

③ 新潟市民芸術文化会館、音楽文化会館

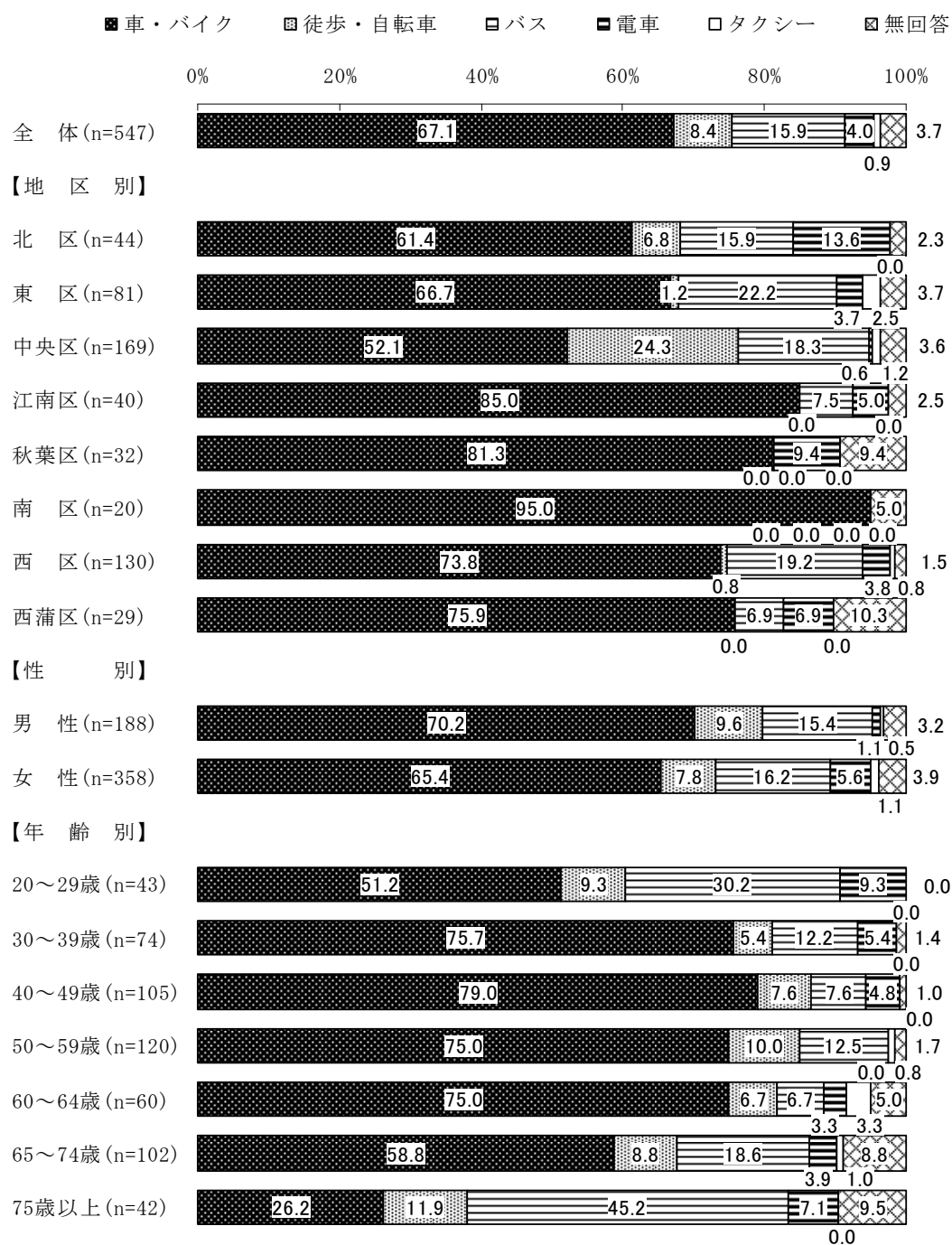


地区別では、「年に数回」の割合は、中央区（35.3%）と西区（32.1%）が高く、3割を超えている。

性別では、「年に数回」の割合は、女性（32.4%）の方が男性（20.0%）よりも高くなっている。

年齢別では、「年に数回」の割合は、40代（32.7%）と50代（31.5%）が高くなっている。

【おもな交通手段】

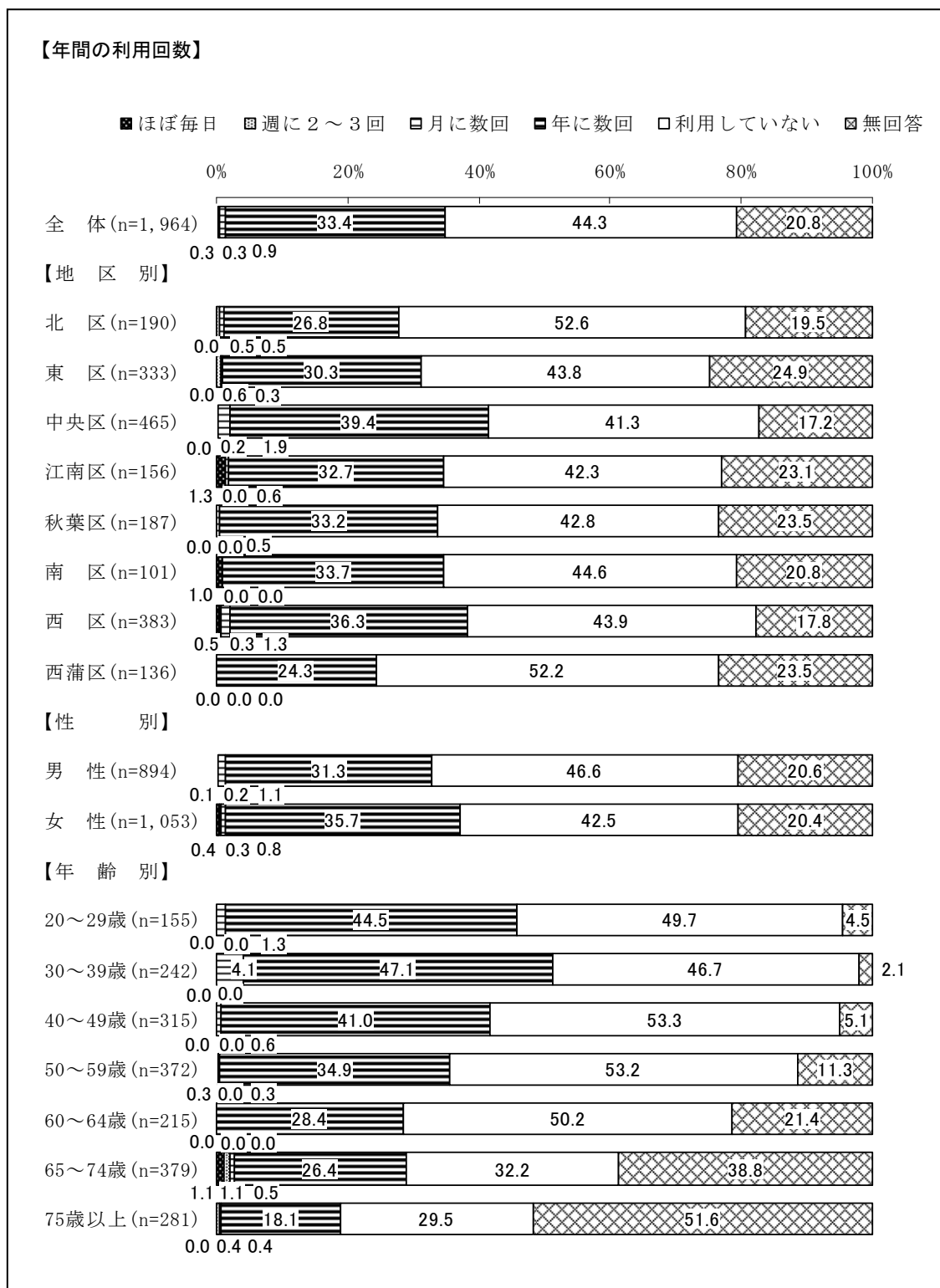


地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、南区（95.0%）では9割を超えている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、75歳以上を除き「車・バイク」の割合が最も高くなっている。75歳以上では、「バス」（45.2%）の割合が最も高くなっている。

④ 美術館・水族館・博物館

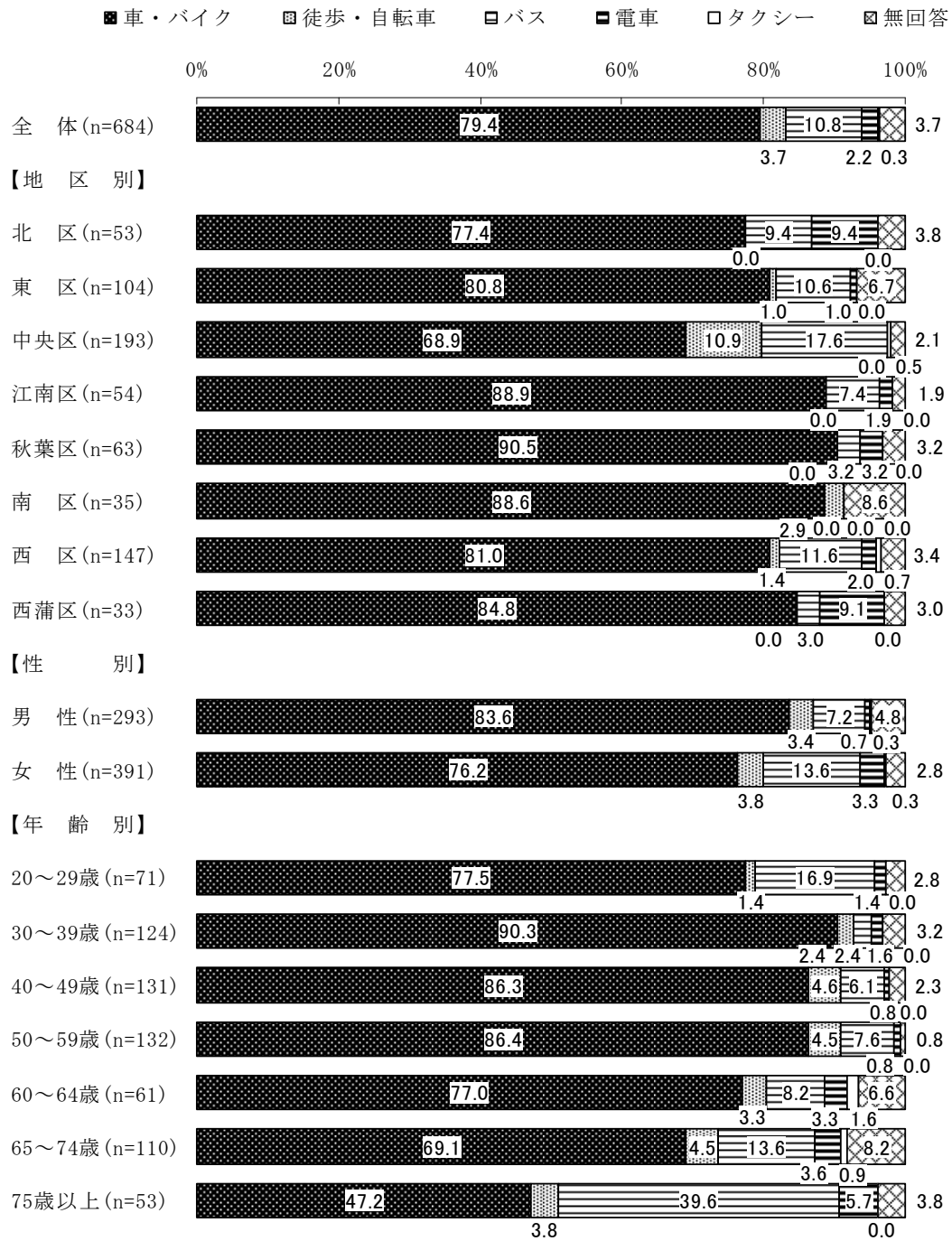


地区別では、「年に数回」の割合は、中央区（39.4%）が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、30代（47.1%）、20代（44.5%）、40代（41.0%）が高く、4割を越えている。

【おもな交通手段】

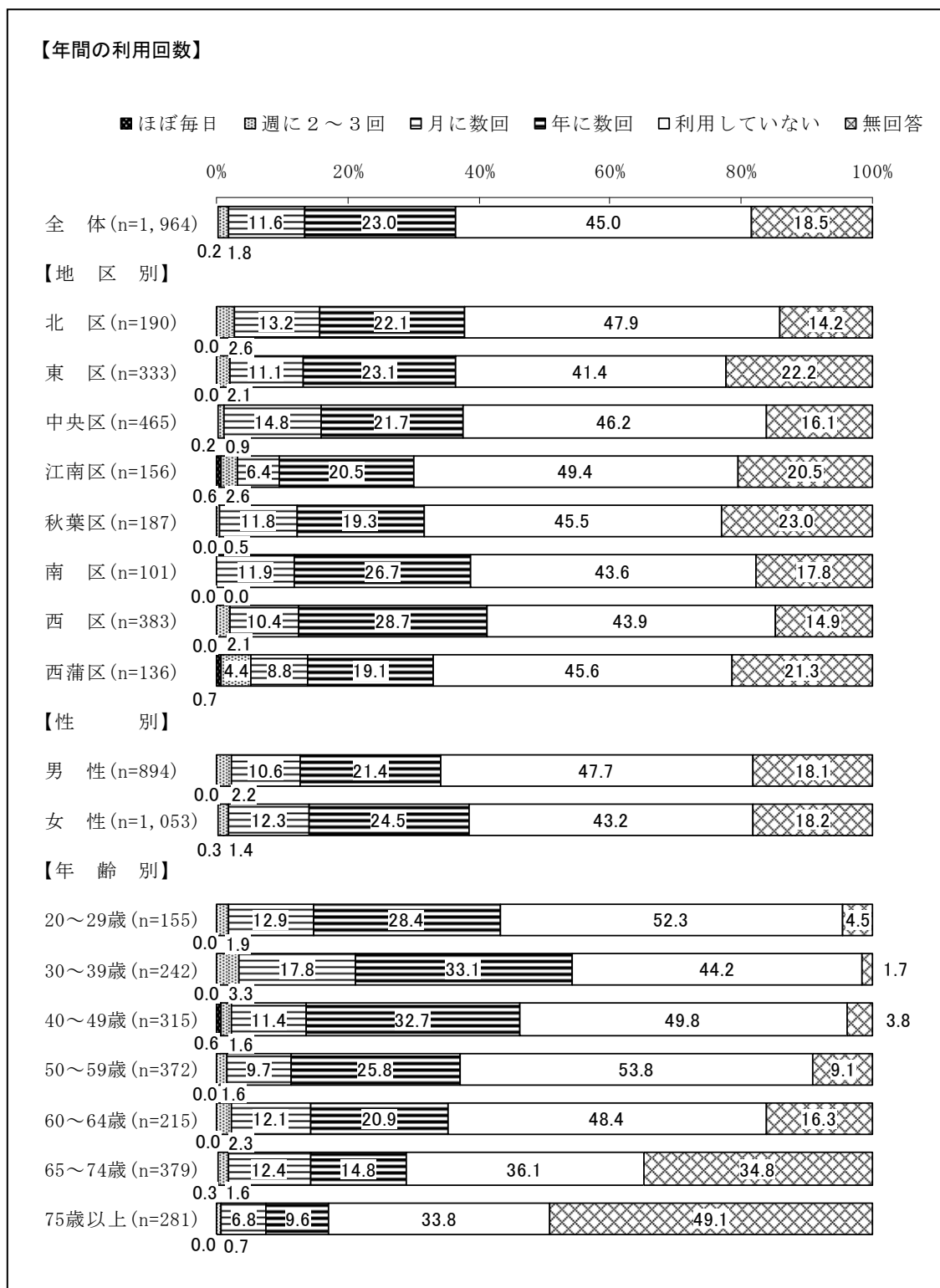


地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高くなっている。

性別では、「車・バイク」の割合は、男性の方が女性よりも高く、「バス」の割合は、女性の方が男性よりも高くなっている。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高くなっている。75歳以上では、「バス」(39.6%)の割合も高くなっている。

⑤ 図書館・図書室

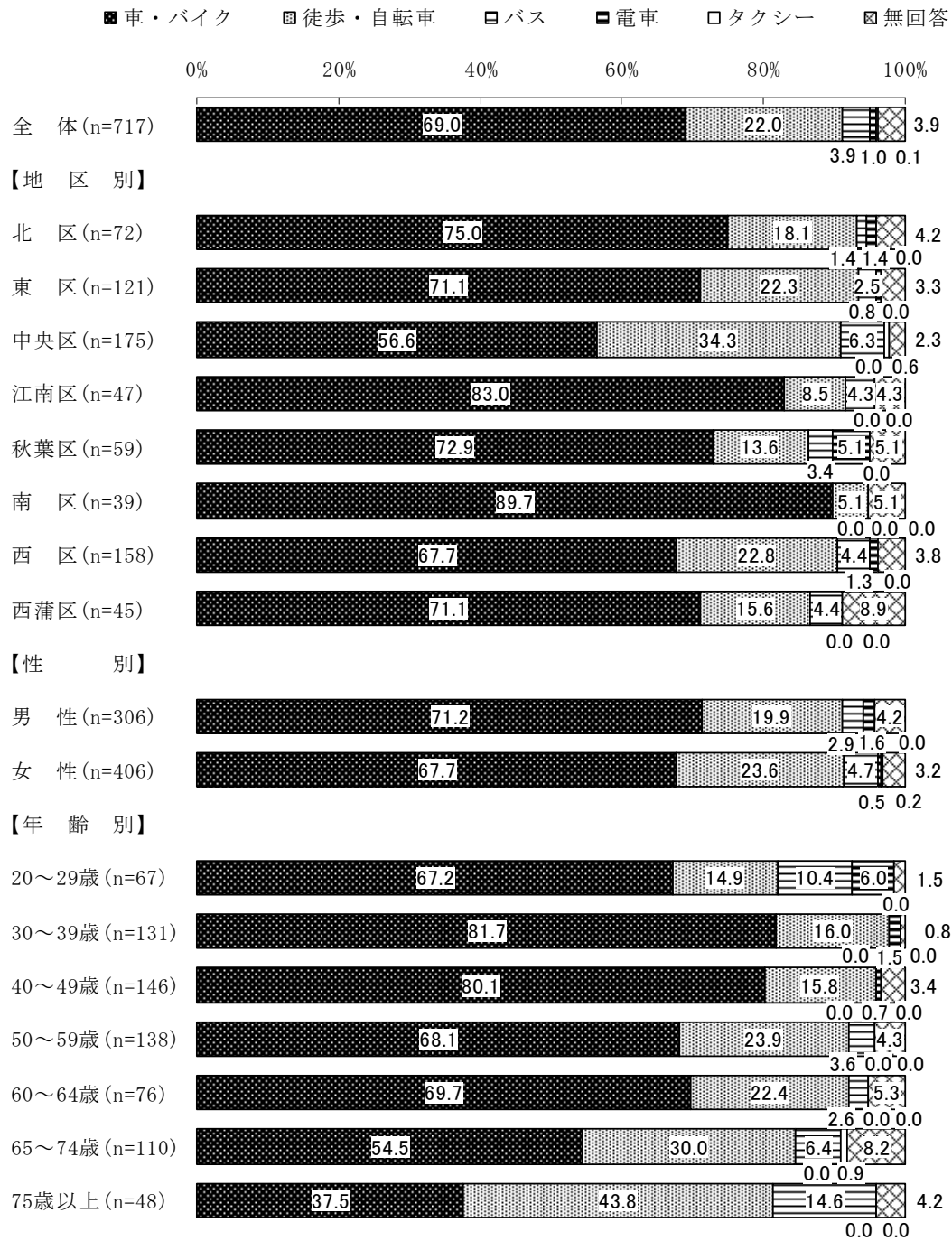


地区別では、「月に数回」の割合は、中央区（14.8%）と北区（13.2%）が高くなっている。「年に数回」の割合は、西区（28.7%）と南区（26.7%）が高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「月に数回」の割合は、30代（17.8%）が最も高くなっている。「年に数回」の割合は、30代（33.1%）と40代（32.7%）が高くなっている。

【おもな交通手段】

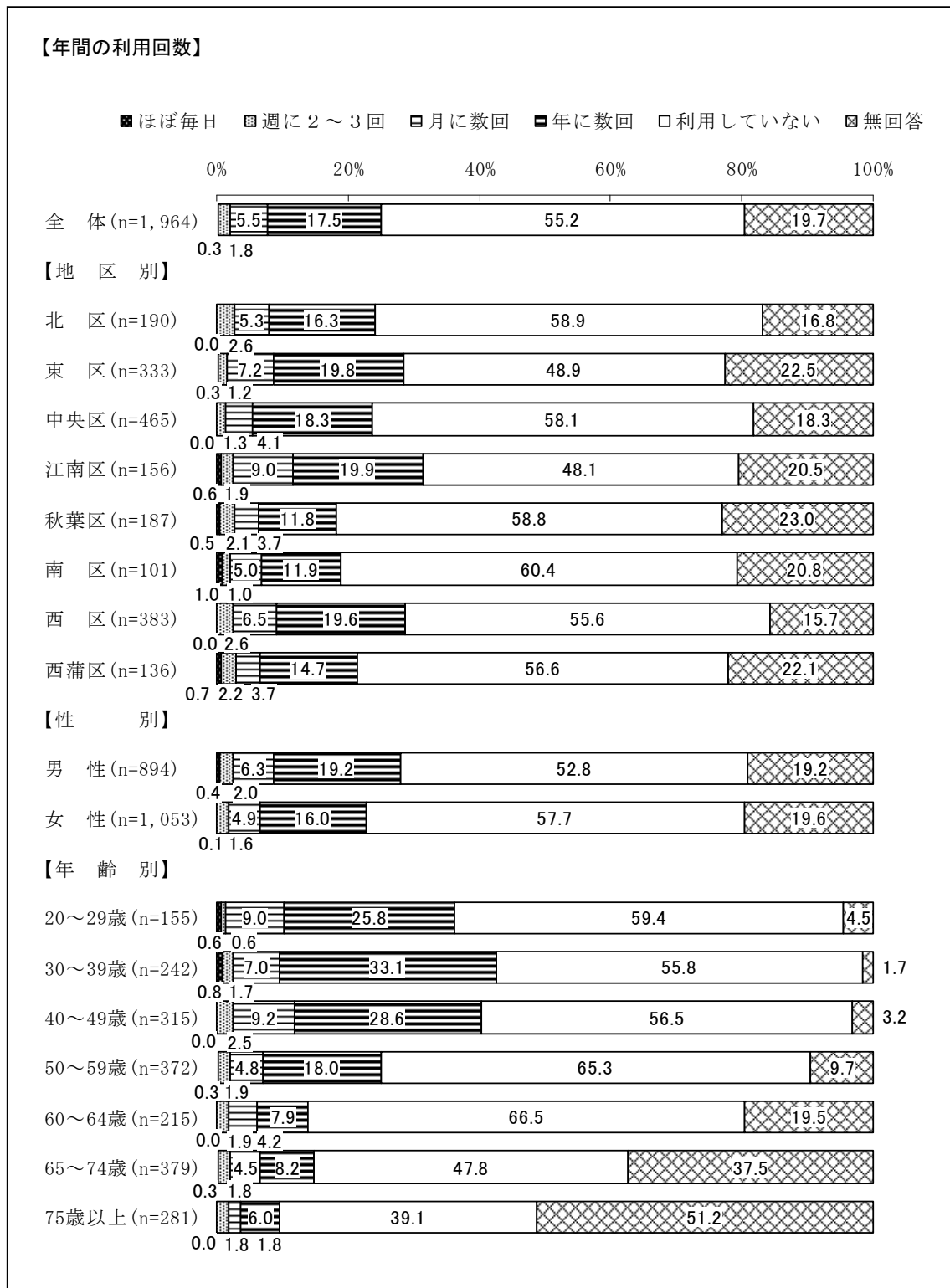


地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、南区（89.7%）では約9割となっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、75歳以上を除き「車・バイク」の割合が最も高くなっている。75歳以上では、「徒歩・自転車」（43.8%）の割合が最も高くなっている。

⑥ 体育施設

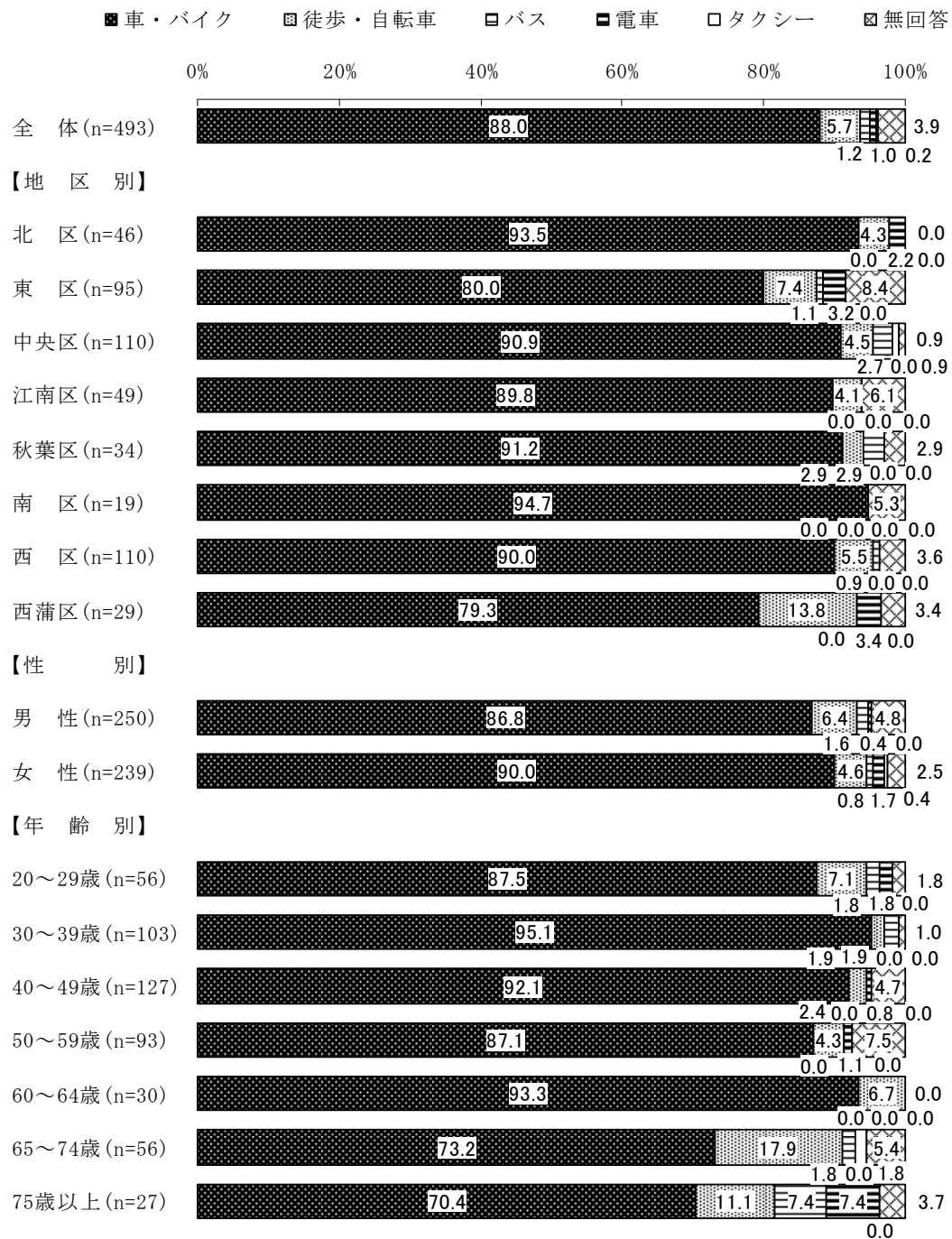


地区別では、「月に数回」の割合は、江南区（9.0%）が最も高くなっている。「年に数回」の割合は、江南区（19.9%）、東区（19.8%）、西区（19.6%）が高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「月に数回」の割合は、40代（9.2%）と20代（9.0%）が高くなっている。「年に数回」の割合は、30代（33.1%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

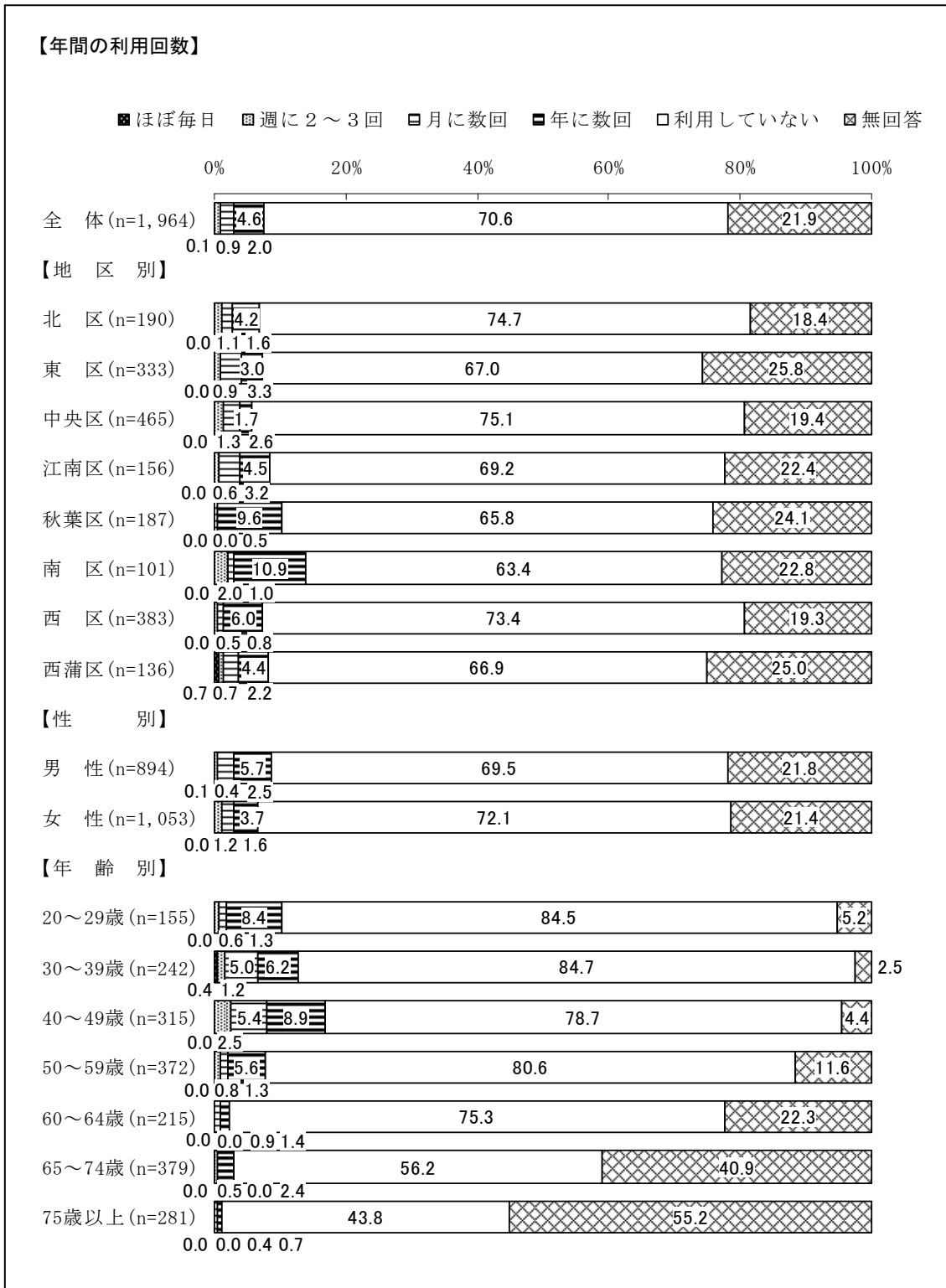


地区別では、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高くなっている。

⑦ 学校開放施設

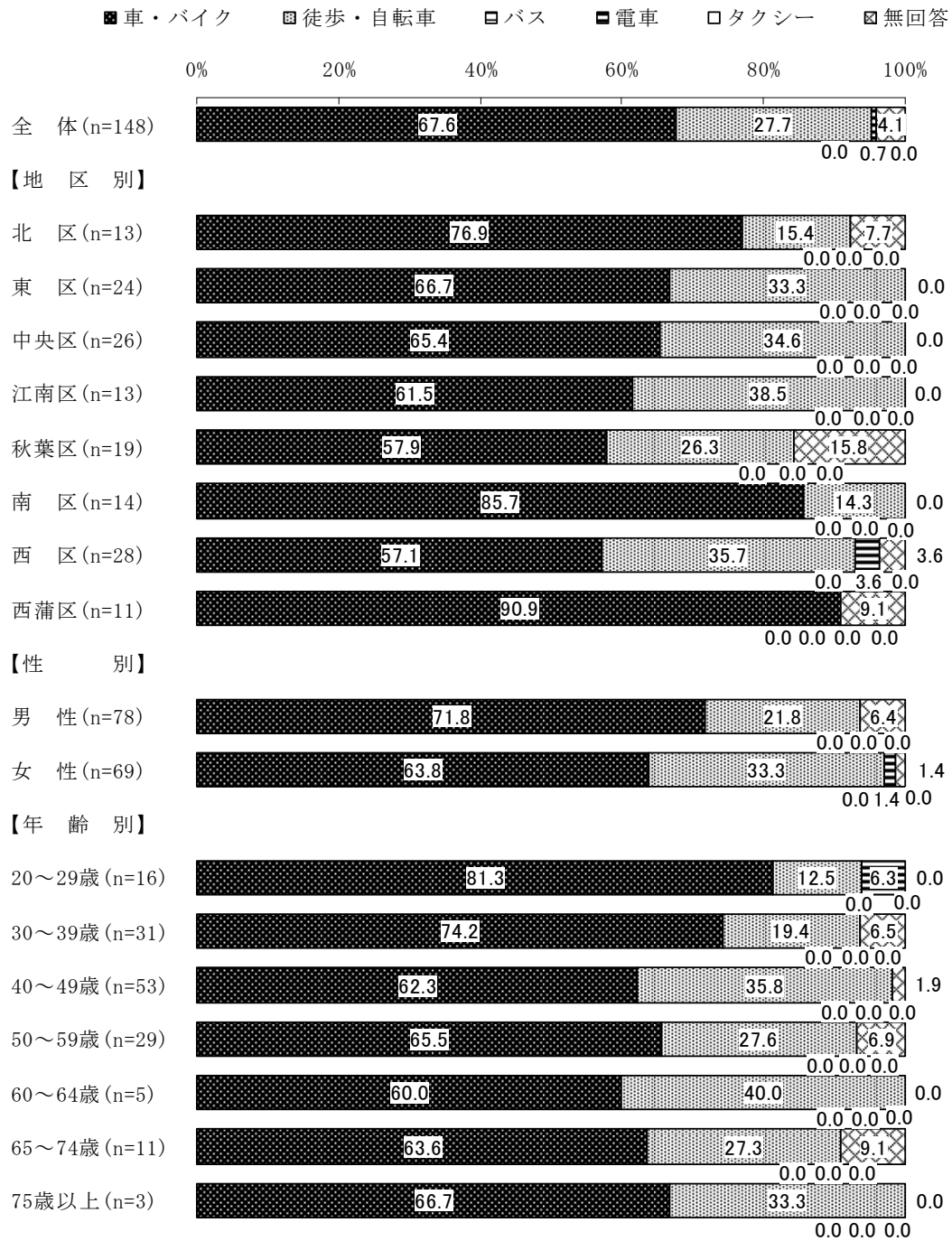


地区別では、「年に数回」の割合は、南区（10.9%）が最も高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、40代（8.9%）と20代（8.4%）が比較的高くなっている。

【おもな交通手段】

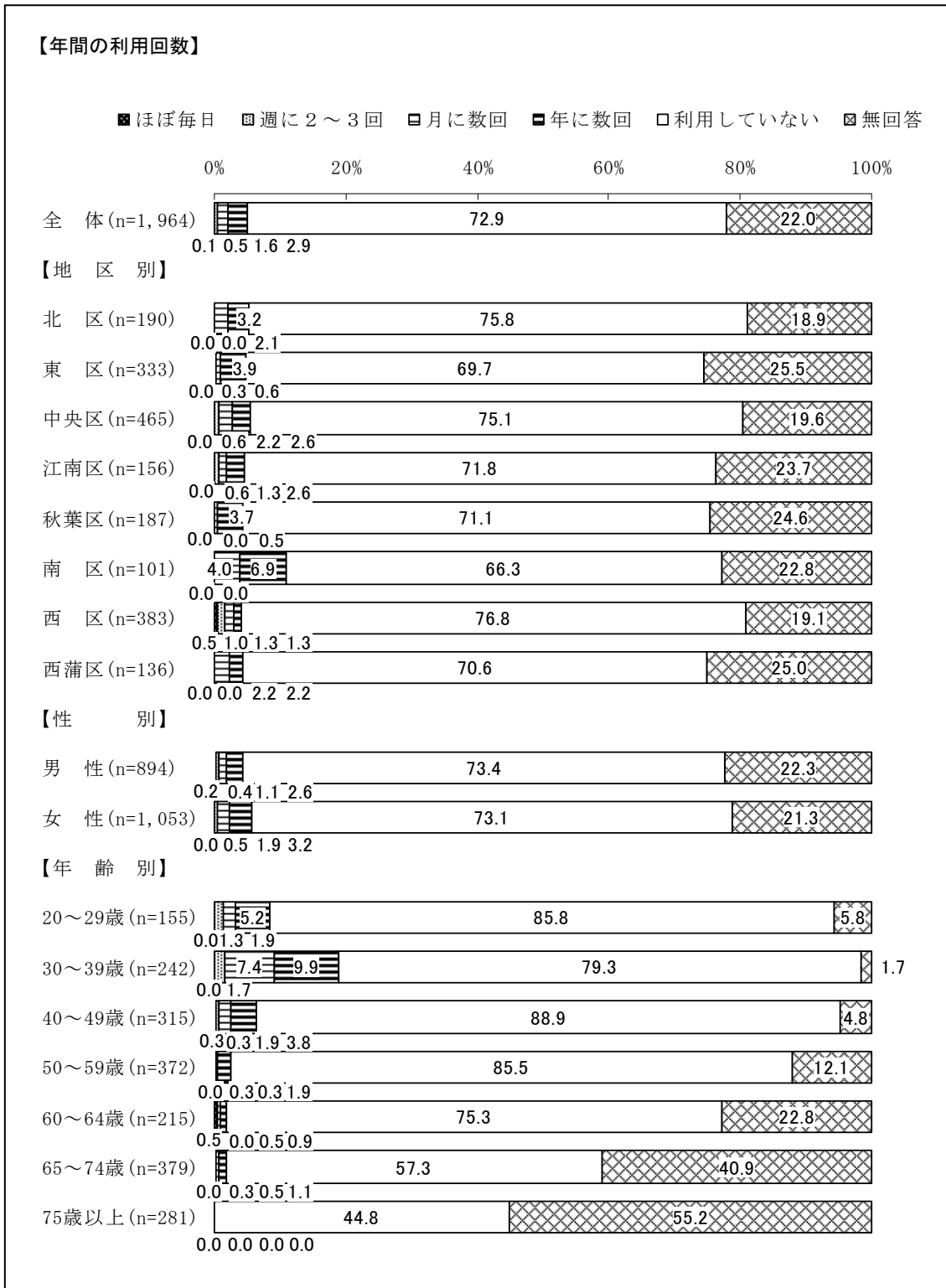


地区別は、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、西蒲区（90.9%）では9割を超えている。

性別では、「車・バイク」の割合は、男性（71.8%）の方が女性（63.8%）よりも高く、「徒歩・自転車」の割合は、女性（33.3%）の方が男性（21.8%）よりも高くなっている。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く、20代（81.3%）が最も高くなっている。

⑧ 児童館・子育て支援センター

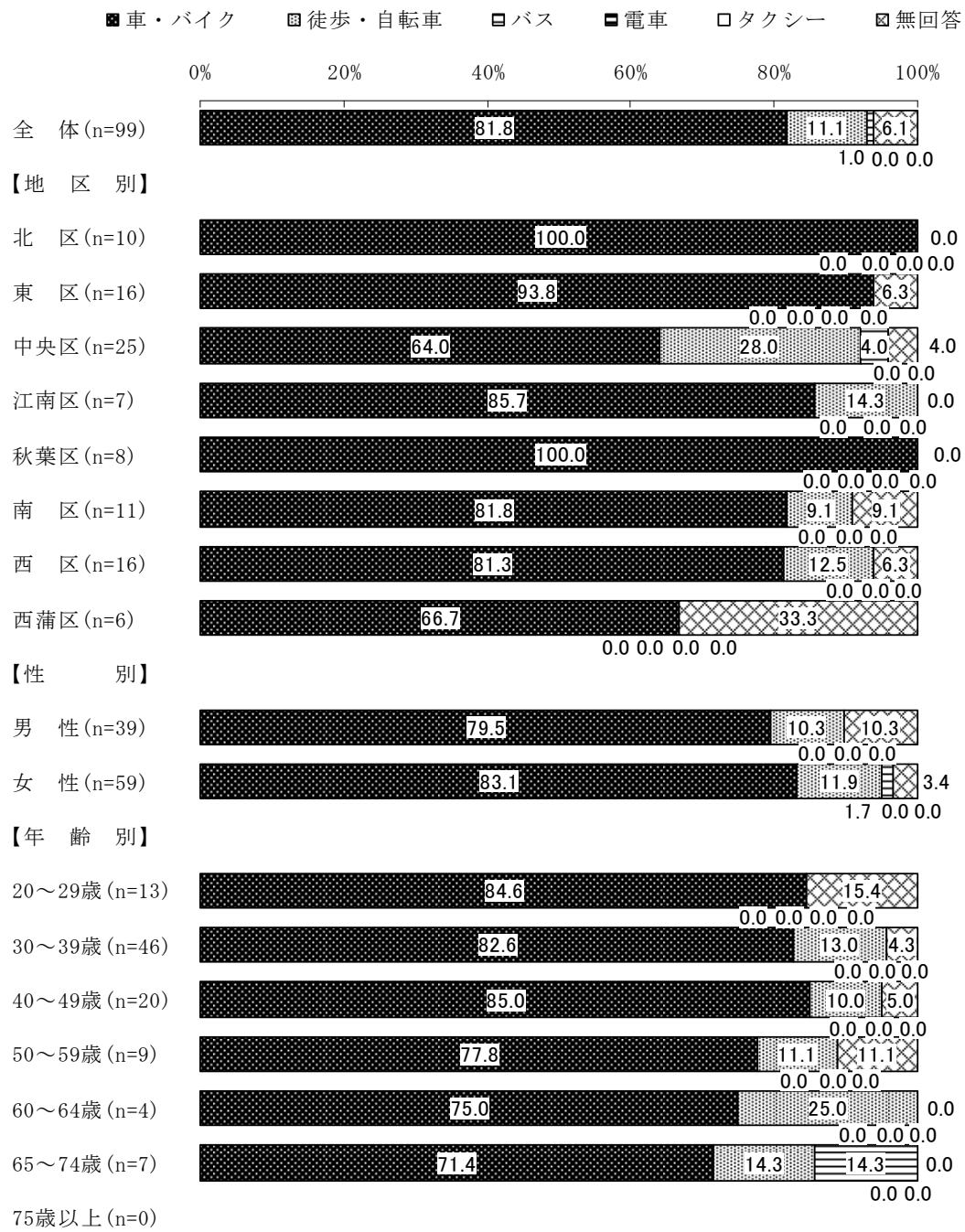


地区別では、「年に数回」の割合は、南区（6.9％）が比較的高くなっている。

性別では、男女差がみられない。

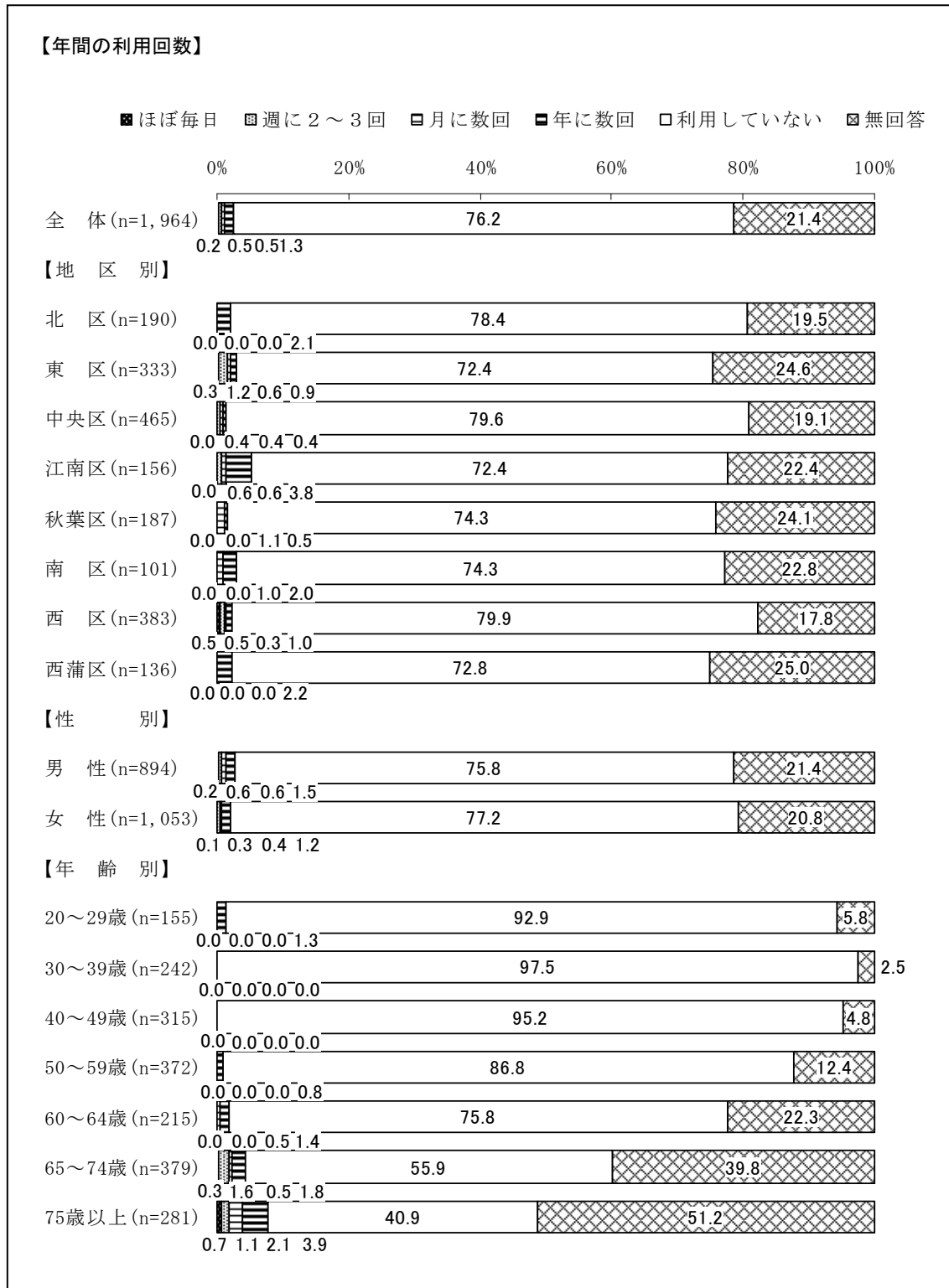
年齢別では、30代で「月に数回」と「年に数回」の割合が比較的高くなっている。

【おもな交通手段】



該当者数が 99 人と少ないため、図のみの掲載とする。

⑨ 老人憩の家

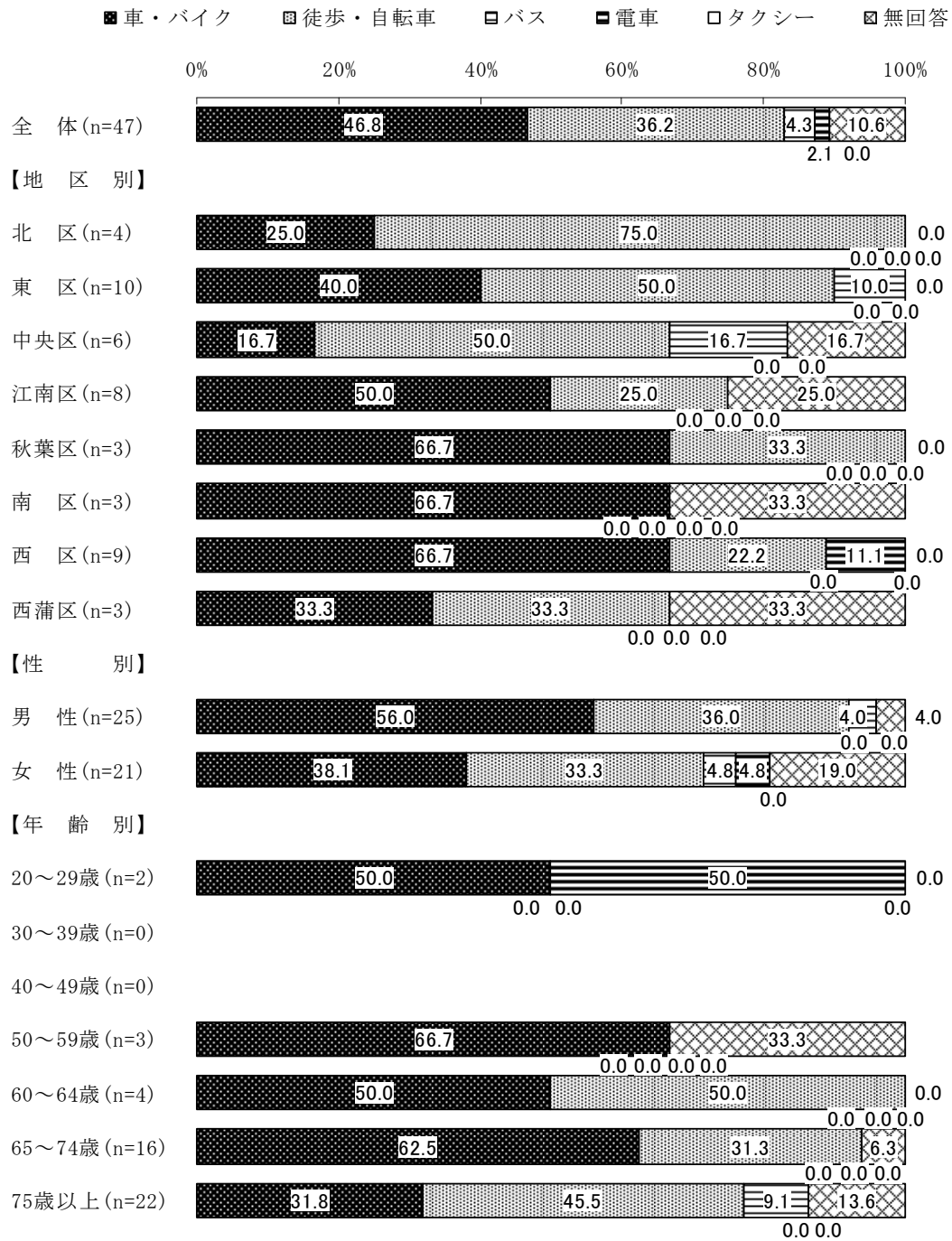


地区別では、いずれの地区も「利用していない」の割合が高く、7割を超えている。

性別では、男女差がみられない。

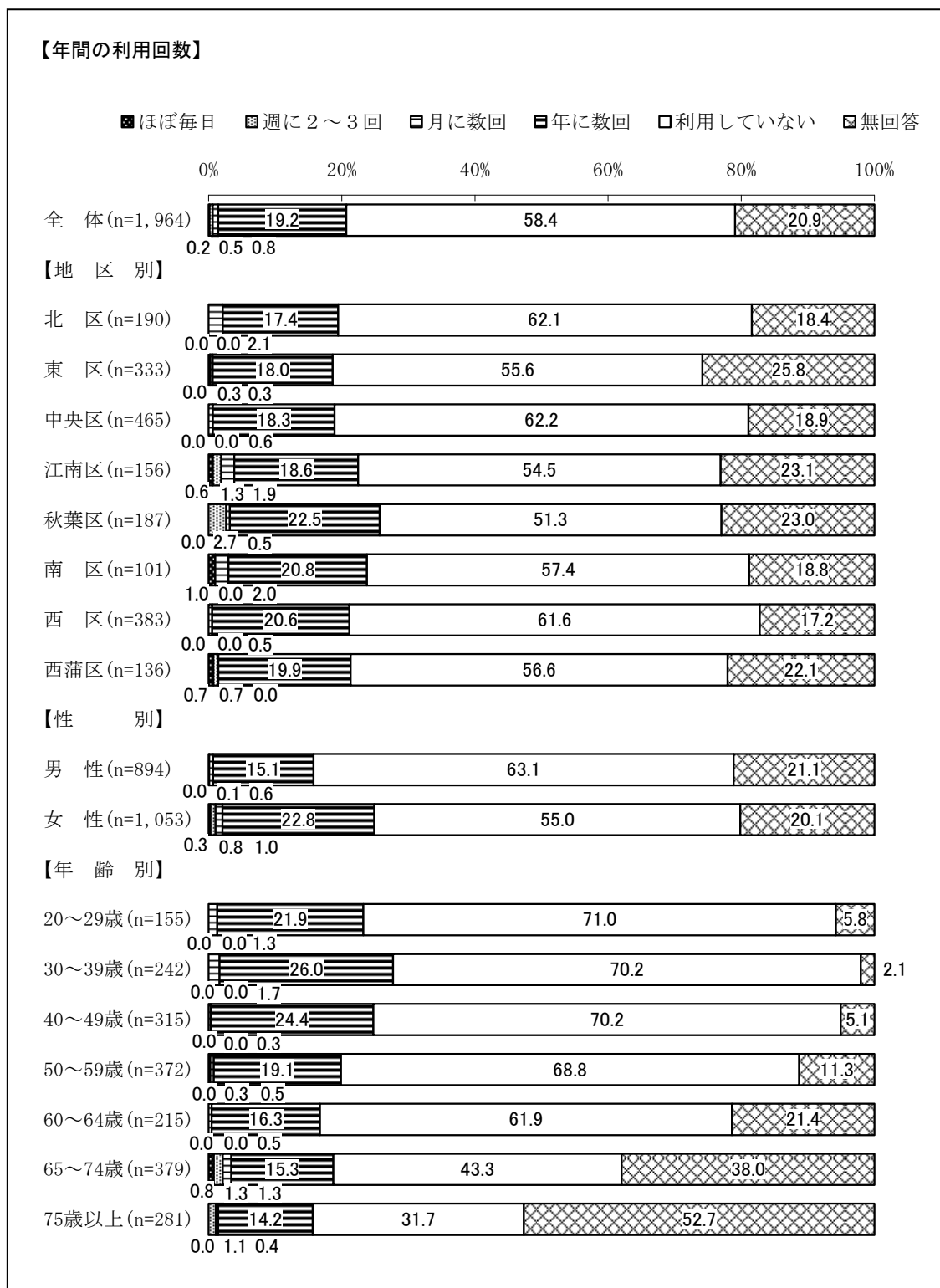
年齢別では、いずれの年齢層も「利用していない」の割合が高くなっている。

【おもな交通手段】



該当者数が 47 人と少ないため、図のみの掲載とする。

⑩ 健康センター・保健センター

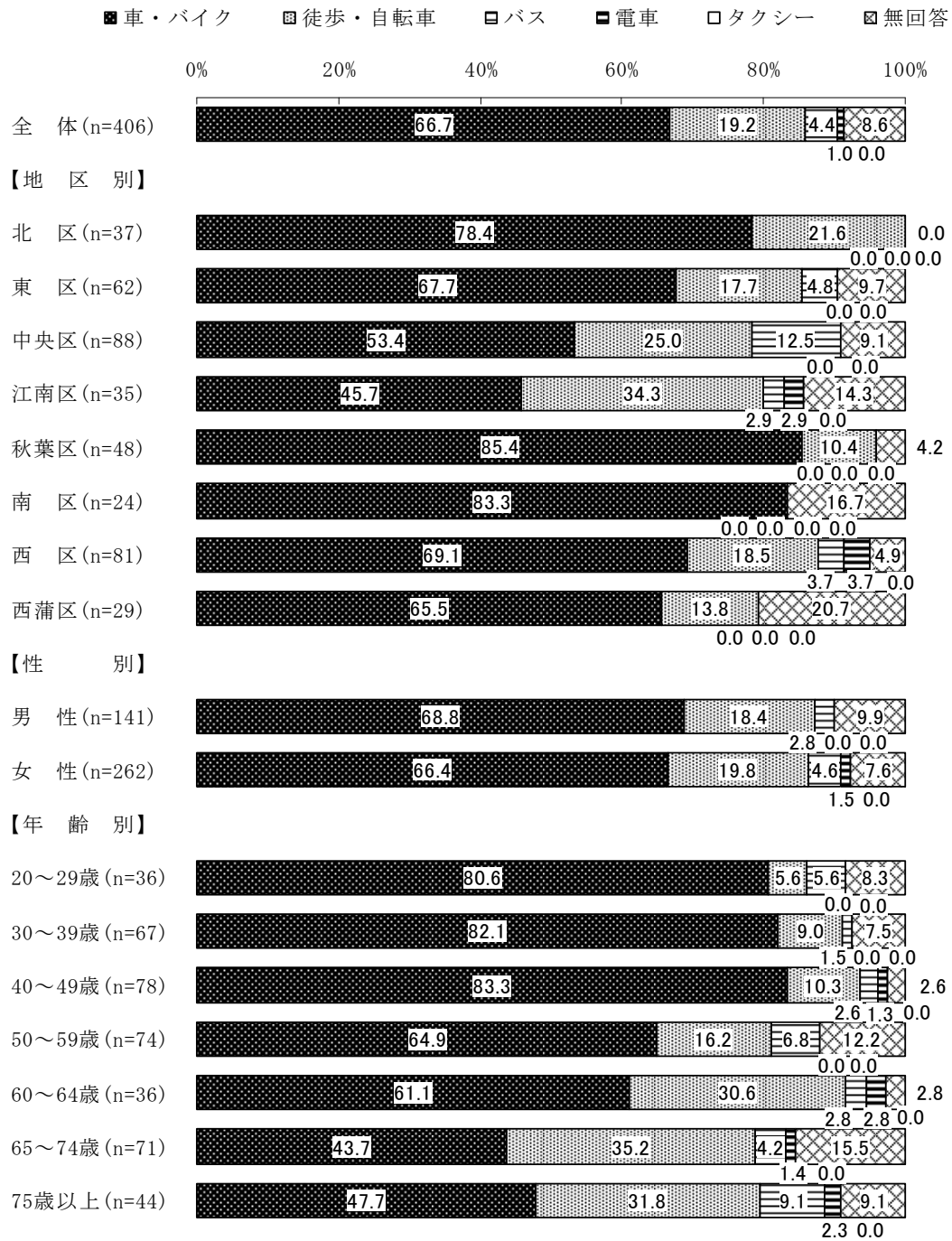


地区別では、「年に数回」の割合は、秋葉区 (22.5%)、南区 (20.8%)、西区 (20.6%) が比較的高く、2割を超えている。

性別では、「年に数回」の割合は、女性 (22.8%) の方が男性 (15.1%) よりも高くなっている。

年齢別では、「年に数回」の割合は、30代 (26.0%) が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

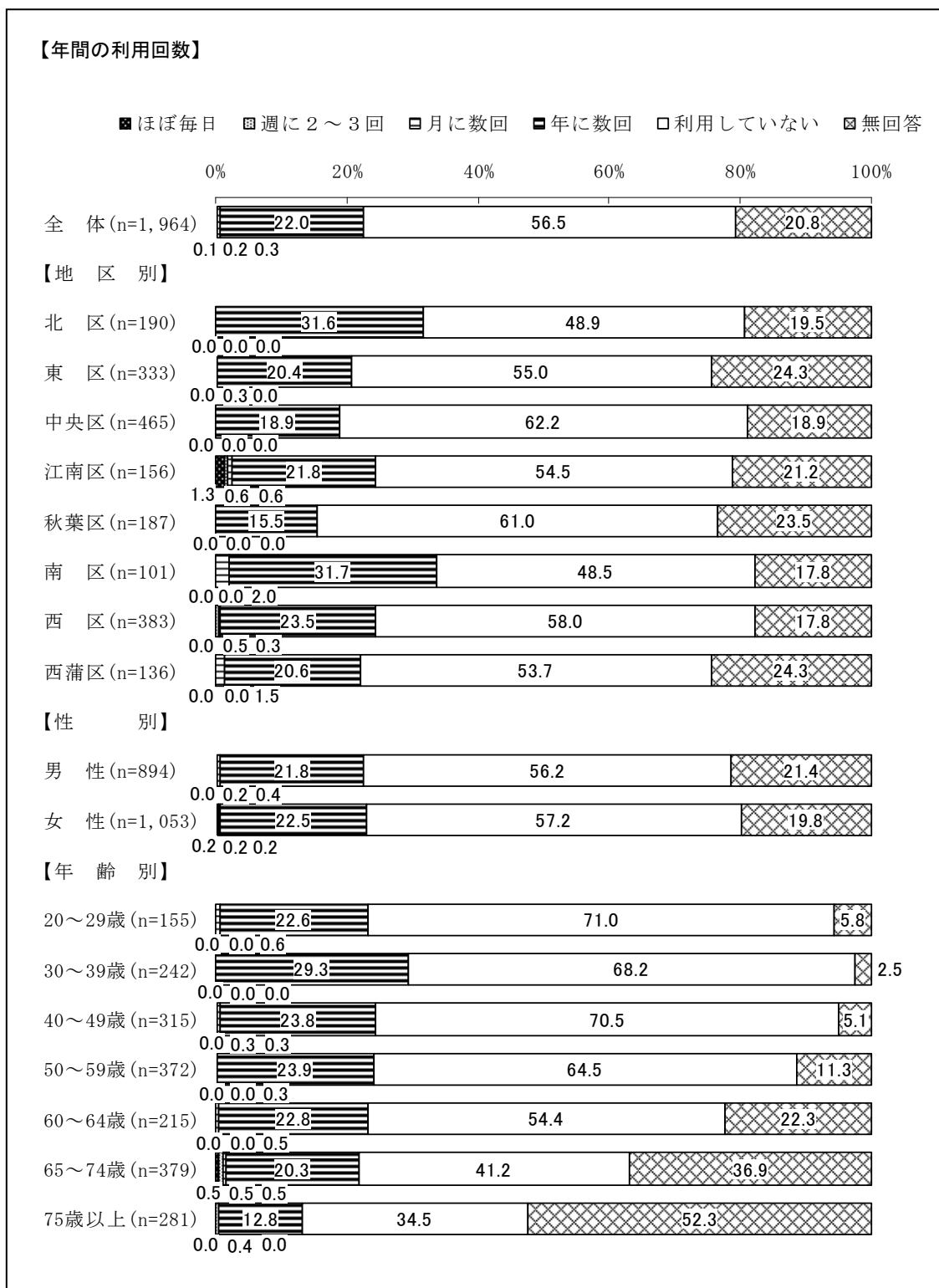


地区別は、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、秋葉区(85.4%)と南区(83.3%)では8割を超えている。

性別では、男女差が見られない。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く 40代(83.3%)、30代(82.1%)、20代(80.6%)では8割を超えている。

⑪ 観光施設

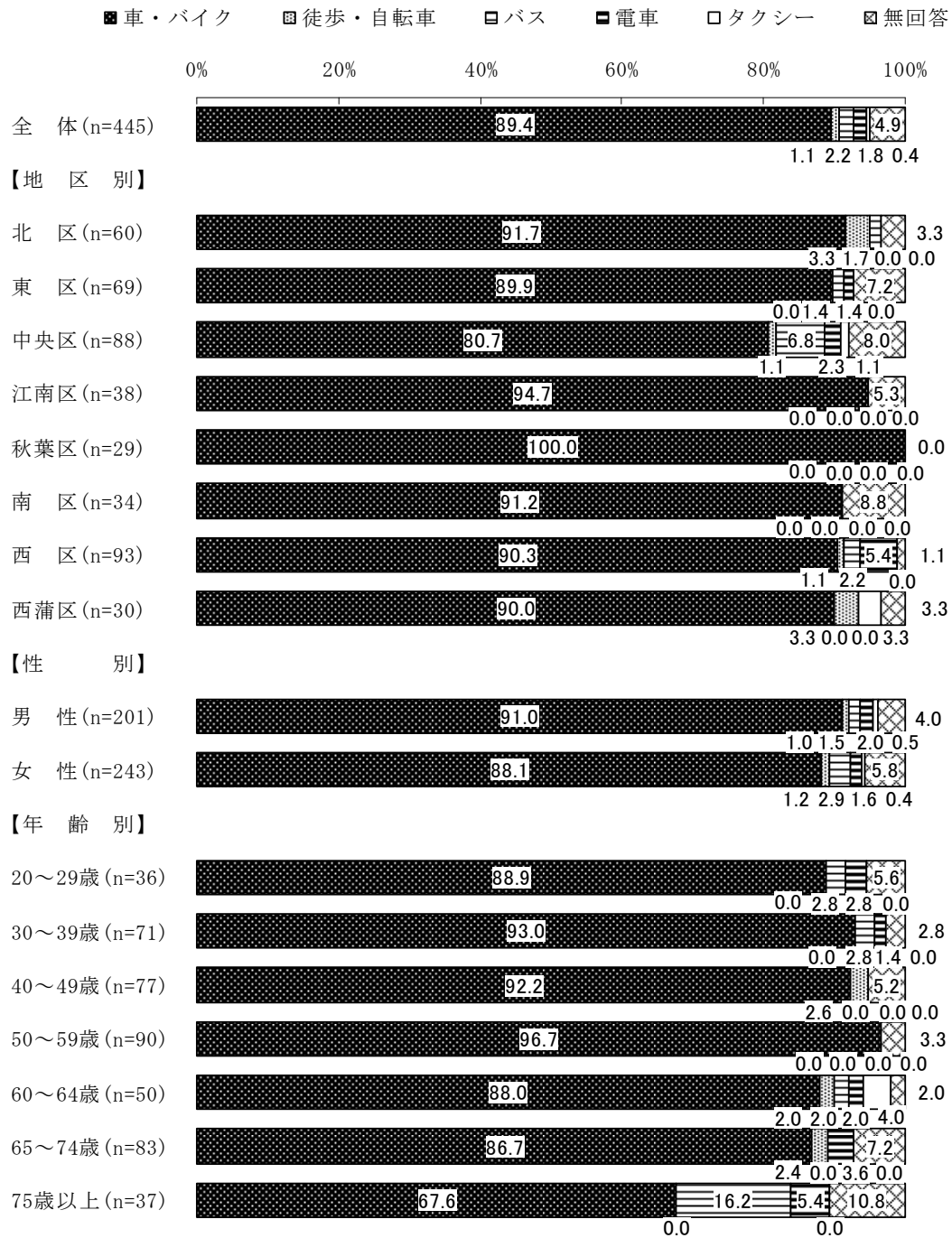


地区別では、「年に数回」の割合は、南区（31.7%）と北区（31.6%）が高く、3割を超えている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、30代（29.3%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

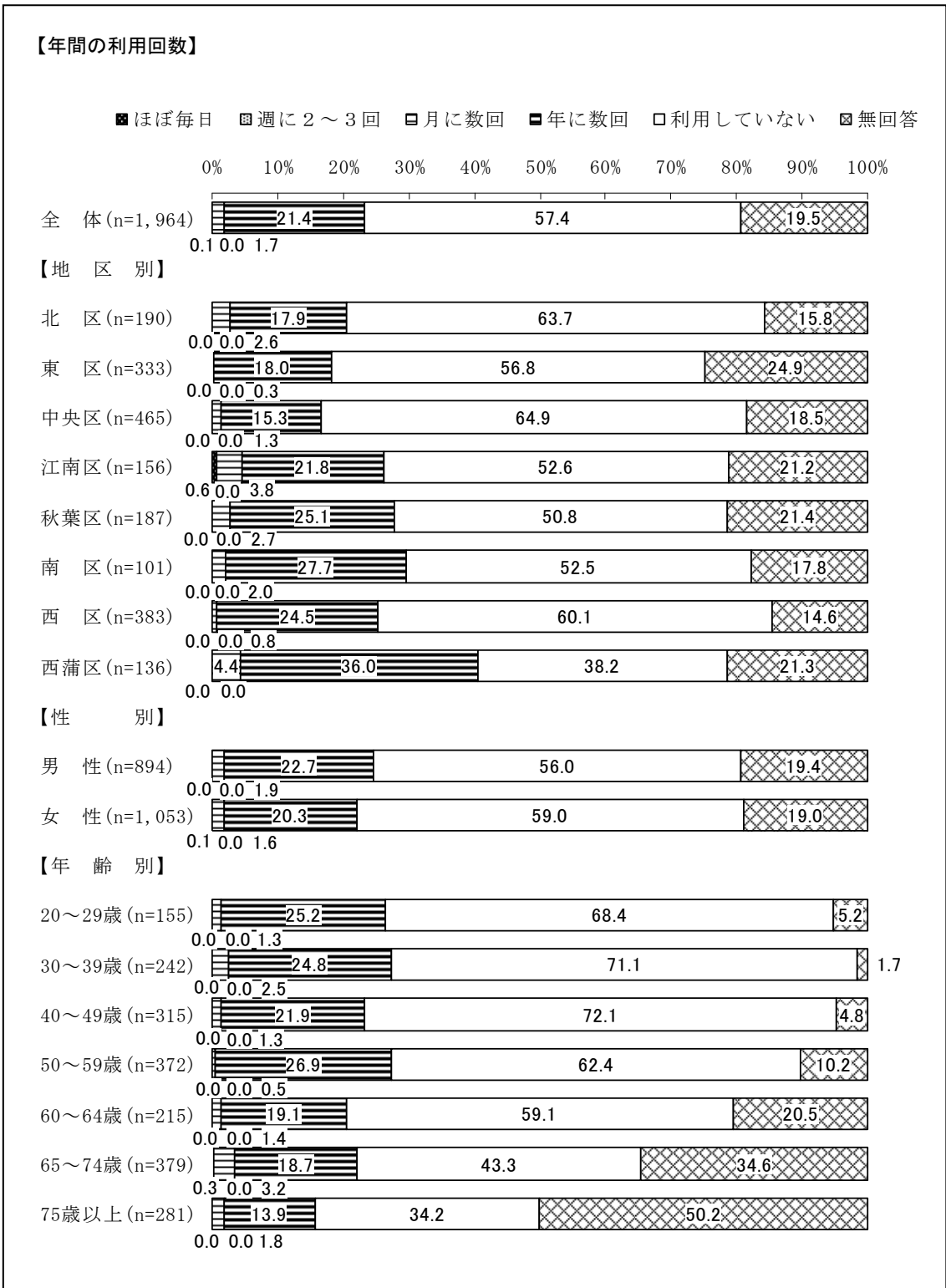


地区別は、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高くなっている、秋葉区では10割となっている。

性別では、男女差が見られない。

年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く 50代 (96.7%)、30代 (93.0%)、40代 (92.2%) では9割を超えている。

⑫ 日帰り温泉施設

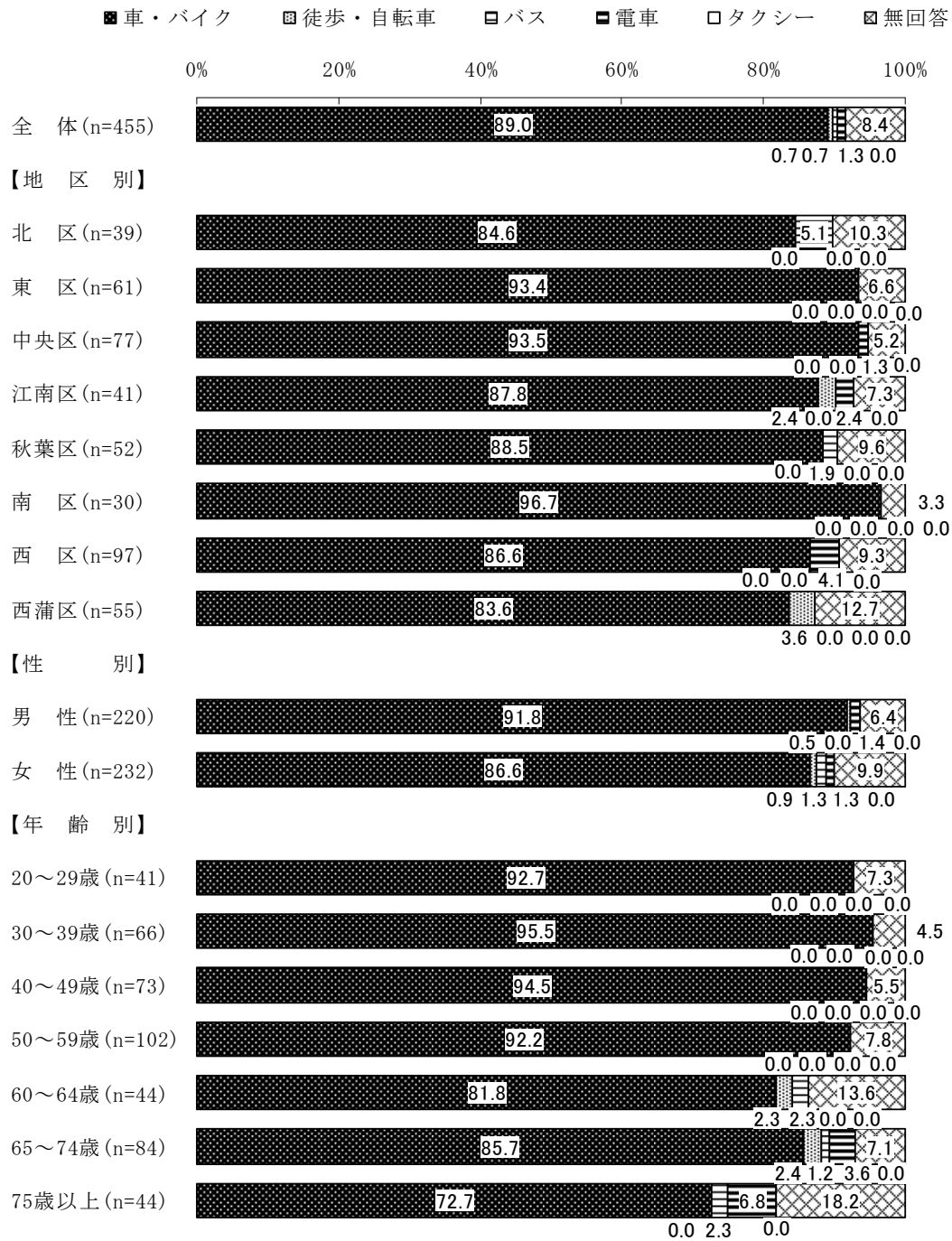


地区別では、「年に数回」の割合は、西蒲区（36.0%）が最も高く、3割を超えている。

性別では、男女差がみられない。

年齢別では、「年に数回」の割合は、50代（26.9%）が最も高くなっている。

【おもな交通手段】

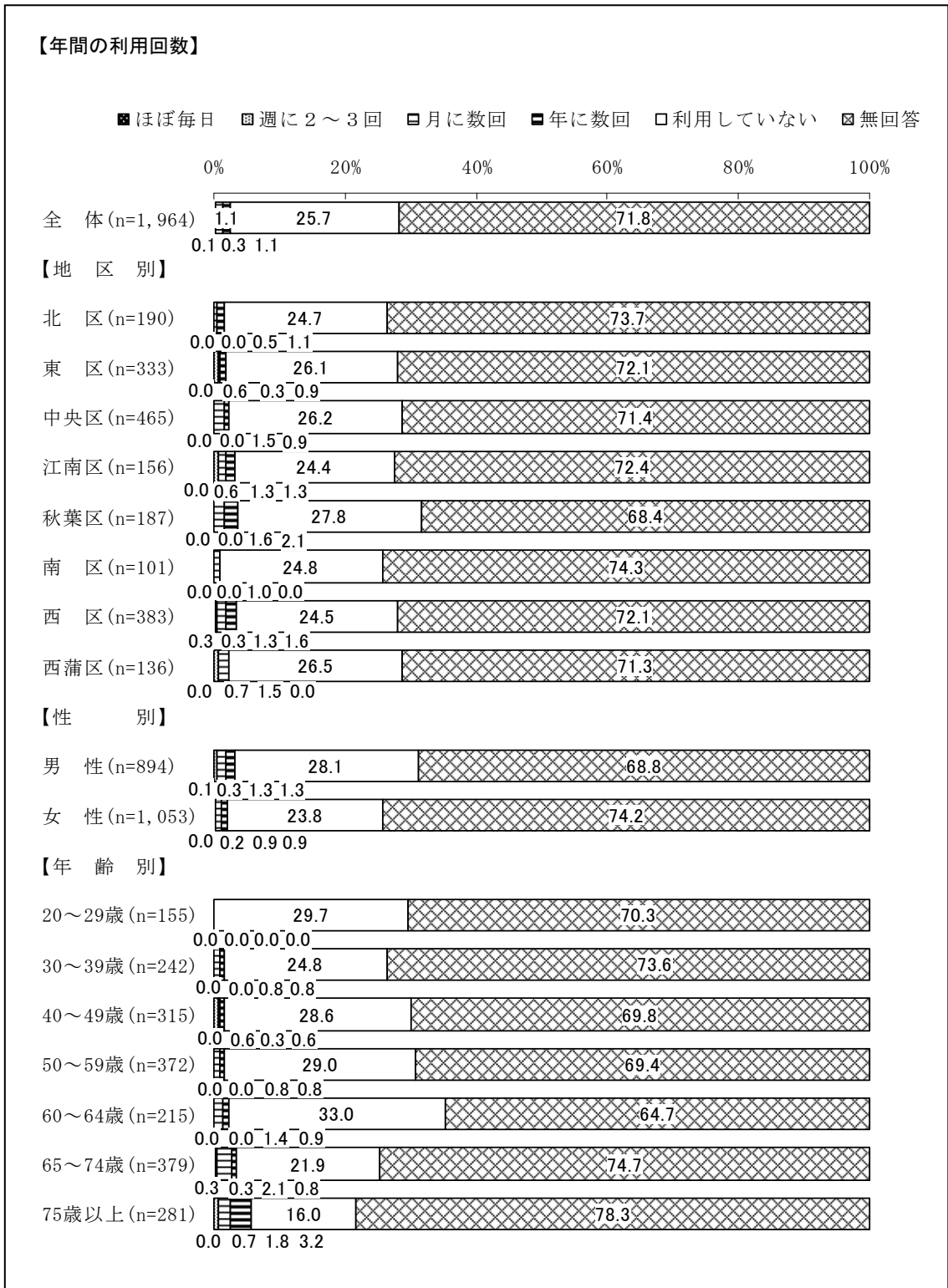


地区別は、いずれの地区も「車・バイク」の割合が最も高く、南区(96.7%)、中央区(93.5%)、東区(93.4%)では9割を超えている。

性別では、「車・バイク」の割合は、男性(91.8%)の方が女性(86.6%)よりも高くなっている。

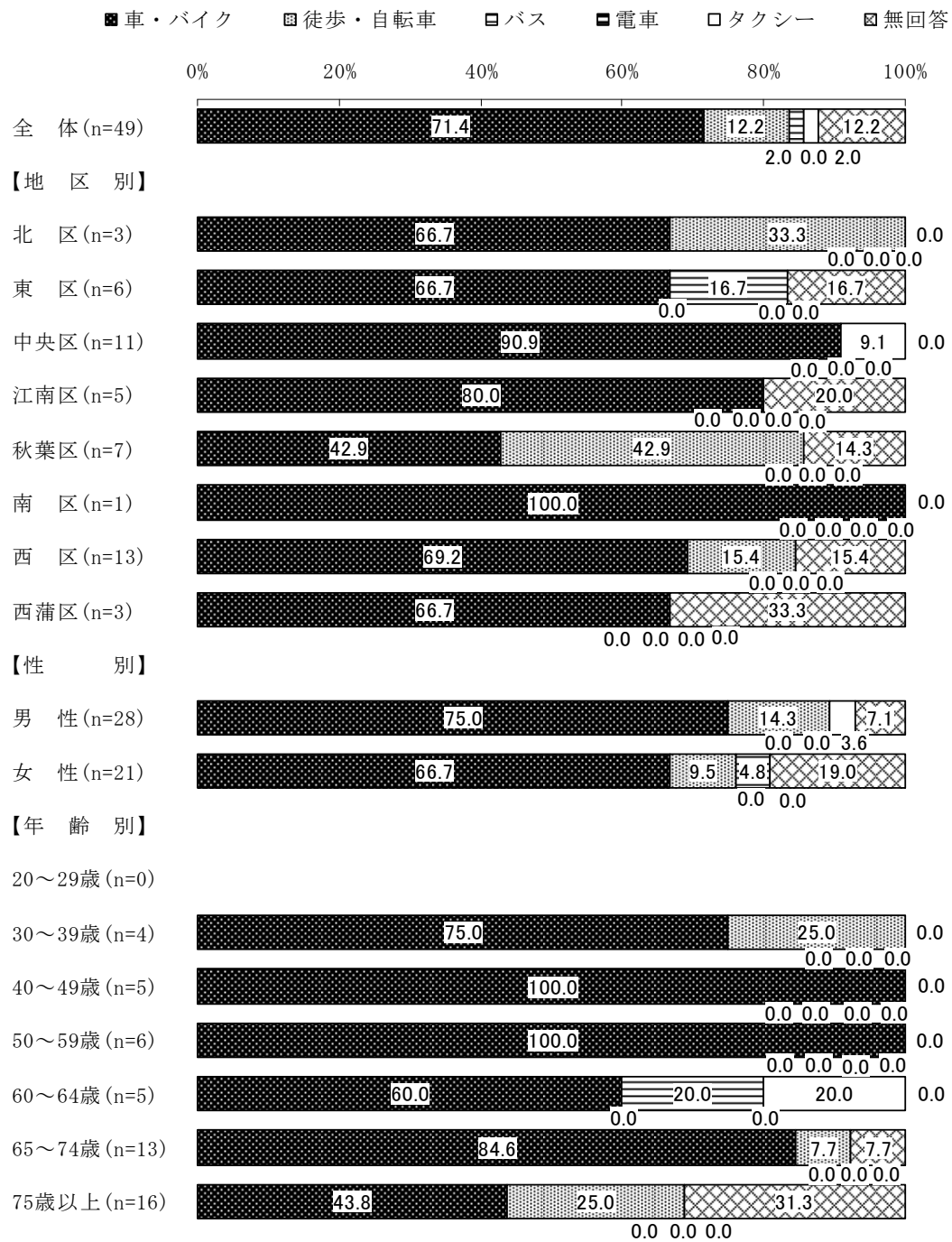
年齢別では、いずれの年齢層も「車・バイク」の割合が最も高く、50代以下では9割を超えている。

⑬ ①～⑫以外の施設で利用している施設



施設名をあげた人が49人と少ないため、図のみの掲載とする。

【おもな交通手段】

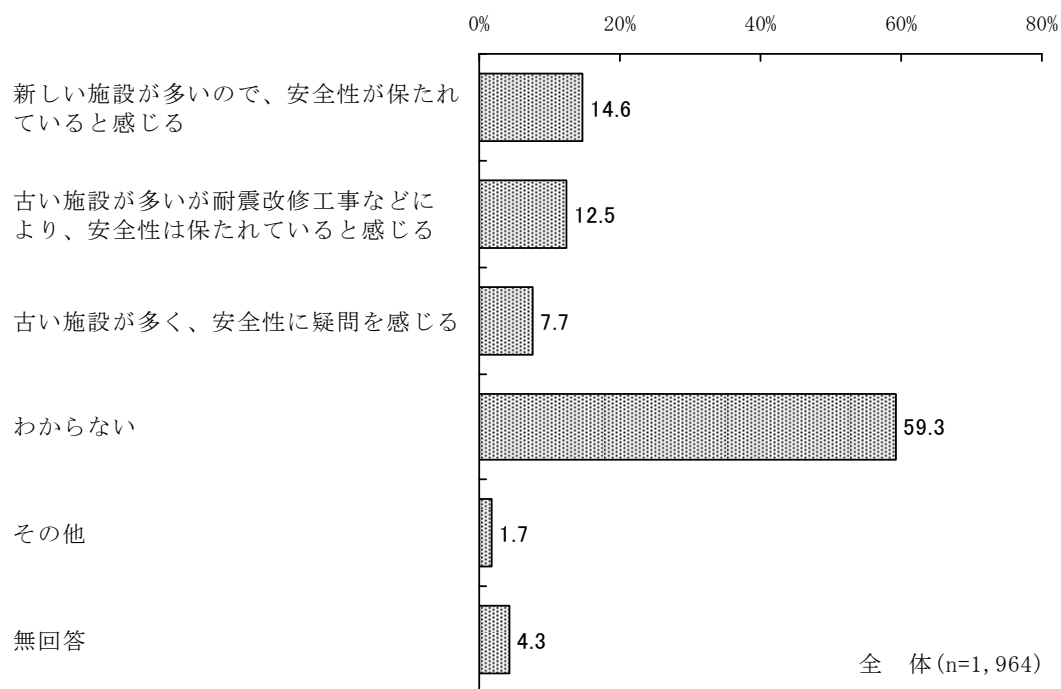


該当者数が 49 人と少ないため、図のみの掲載とする。

(2) 市の施設の安全性

問23 あなたは市の施設の安全性について、どういう施設が多いと感じていますか。

(○は1つだけ)



6割が施設の安全性は「わからない」

【全体結果】

市の施設の安全性については、「わからない」(59.3%)の割合が最も高くなっている。以下、「新しい施設が多いので、安全性が保たれていると感じる」(14.6%)と「古い施設が多いが耐震改修工事などにより、安全性は保たれていると感じる」(12.5%)が1割台、「古い施設が多く、安全性に疑問を感じる」(7.7%)が1割弱で続いている。

【属性別結果】（図 2-1 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「わからない」については、中央区（62.2%）、西区（61.9%）、北区（61.6%）の割合が高く、西蒲区（51.5%）の割合が最も低くなっている。

「新しい施設が多いので、安全性が保たれていると感じる」の割合は、江南区（19.9%）が最も高くなっている。

②性別

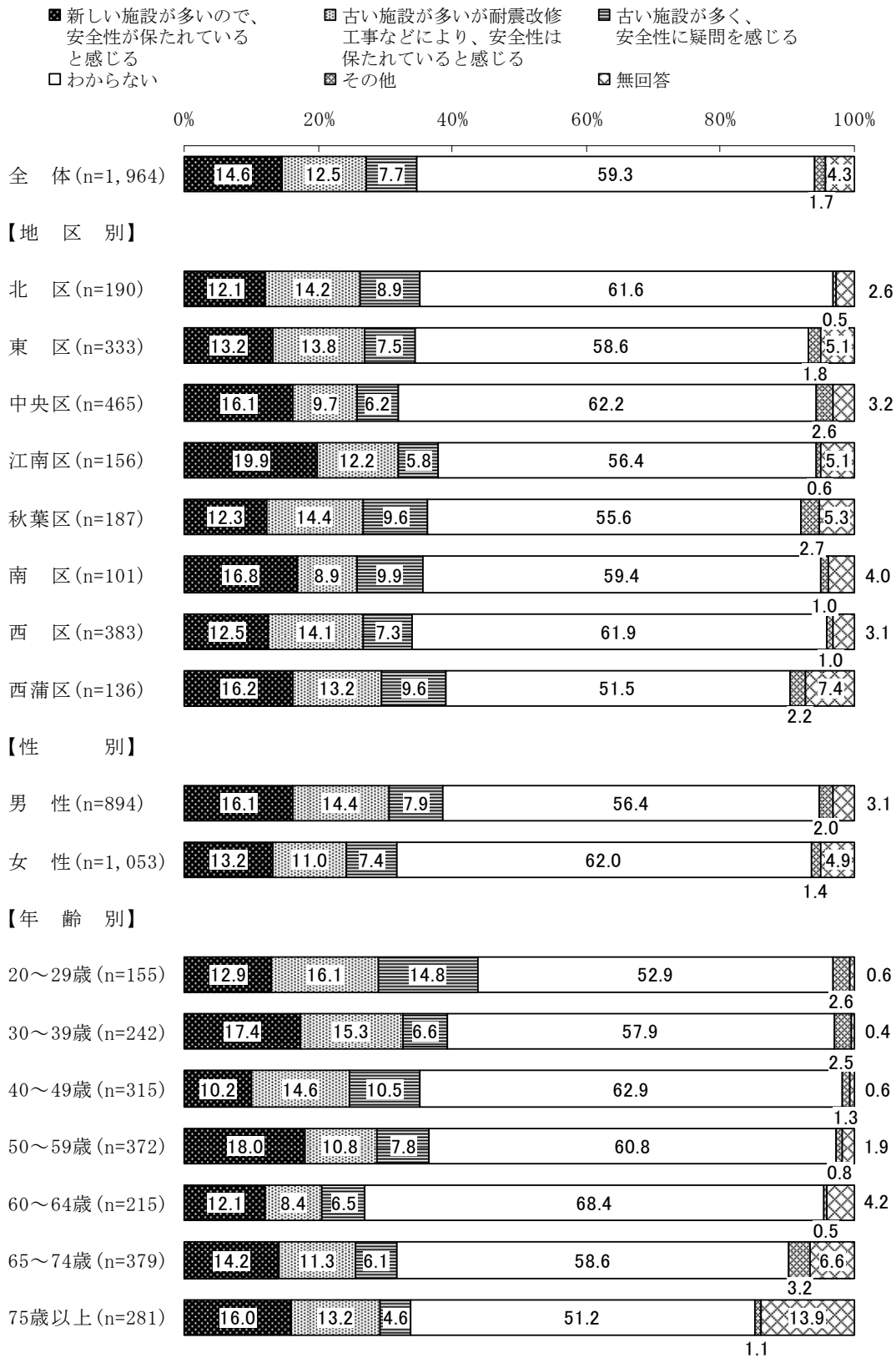
「わからない」の割合は、女性（62.0%）の方が男性（56.4%）よりも高くなっている。

③年齢別

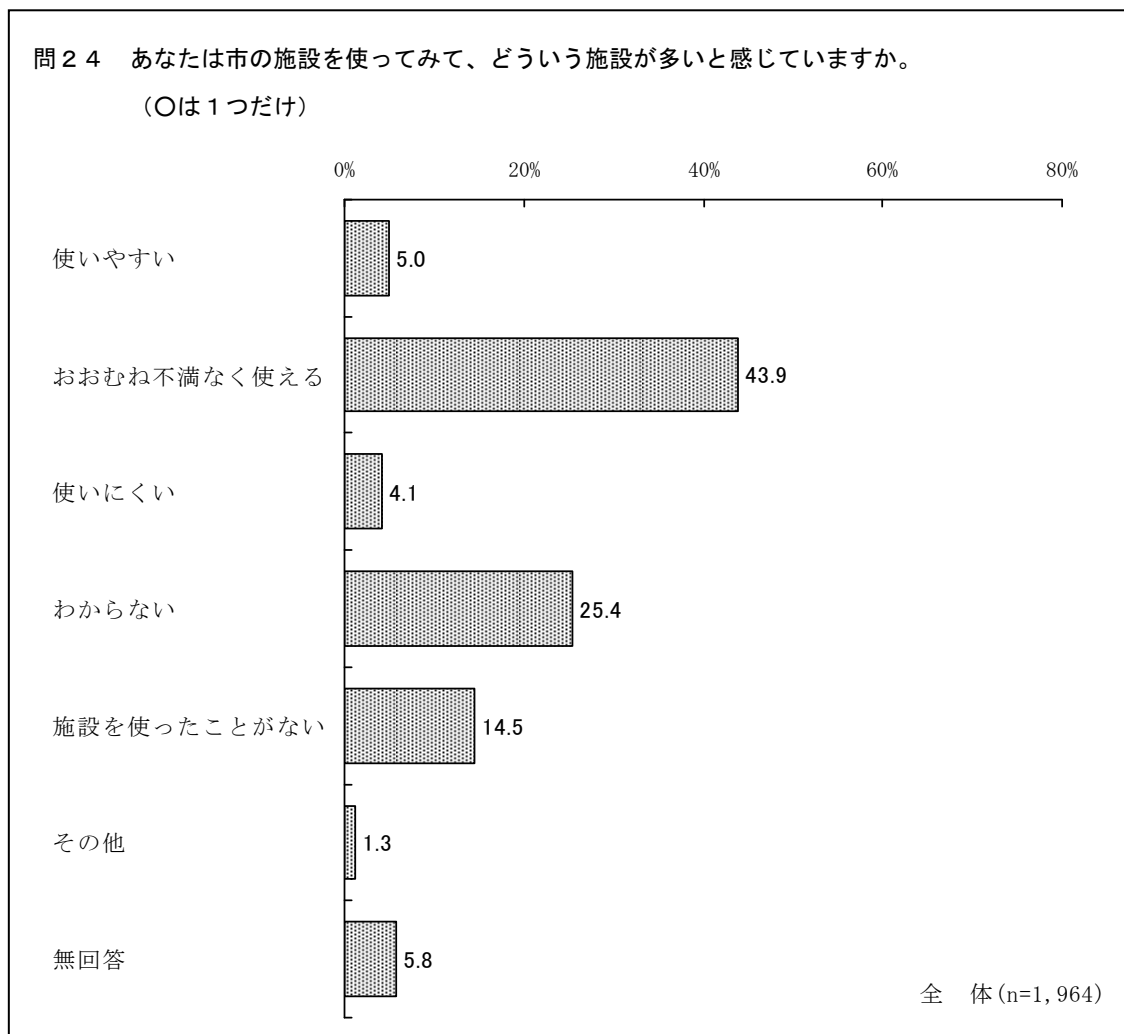
「わからない」の割合は、60～64歳（68.4%）が最も高く、75歳以上（51.2%）が最も低くなっている。

「新しい施設が多いので、安全性が保たれていると感じる」の割合は、50代（18.0%）と30代（17.4%）が高くなっている。

図2-1 市の施設の安全性（地区別／性別／年齢別）



(3) 市の施設の使いやすさ



4割強が施設を「おおむね不満なく」使用

【全体結果】

市の施設の使いやすさについては、「おおむね不満なく使える」(43.9%)の割合が最も高くなっている。

また、「わからない」が25.4%、「施設を使った事がない」が14.5%となっている。

【属性別結果】（図 2-2 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「おおむね不満なく使える」については、西区（51.7%）の割合が最も高く、中央区（39.6%）の割合が最も低くなっている。

「わからない」の割合は、中央区（30.8%）が最も高く、江南区（19.2%）が最も低く、「施設を使ったことがない」の割合は、東区（17.4%）が最も高く、南区（10.9%）が最も低くなっている。

②性別

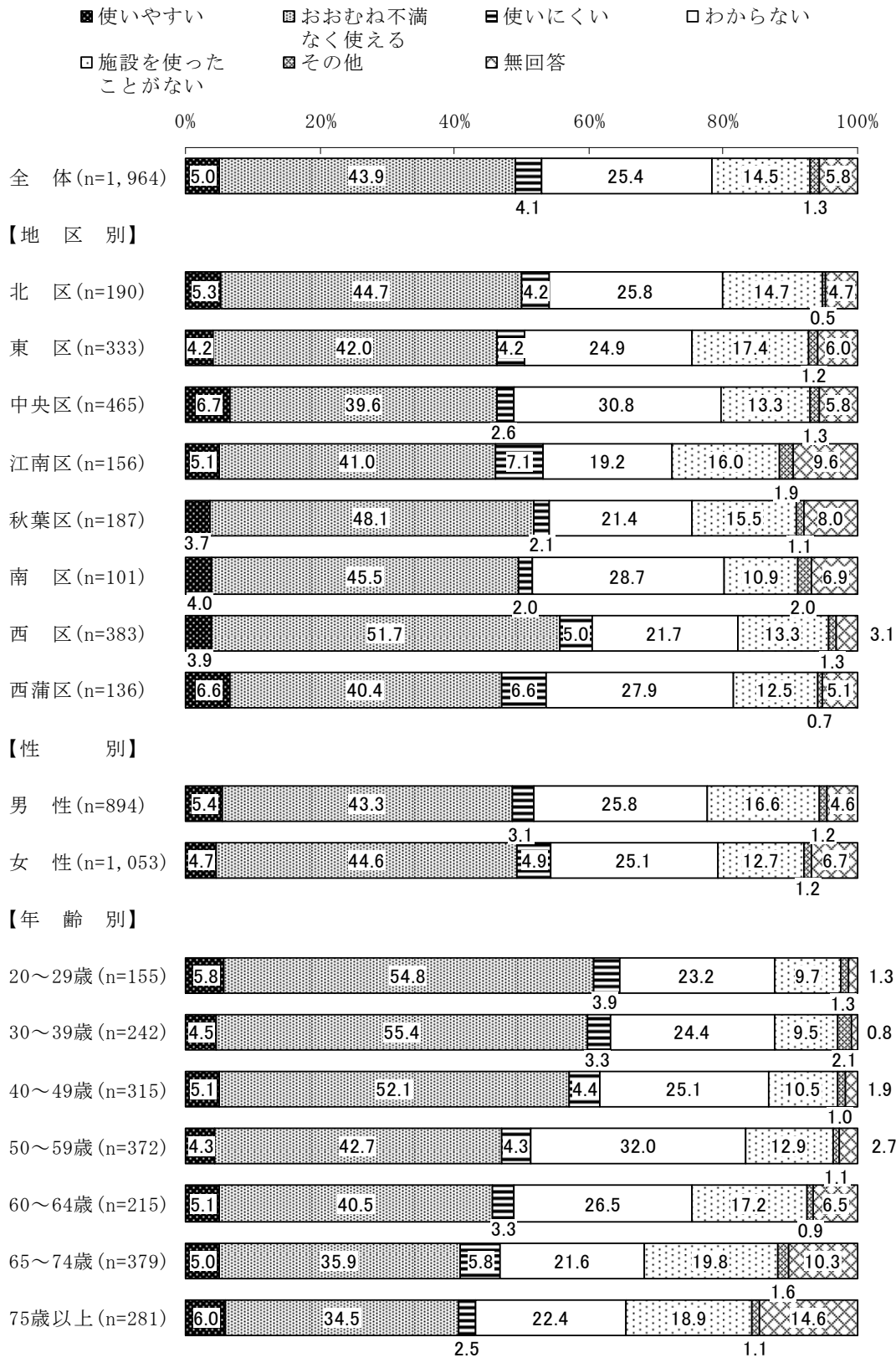
性別では、大きな男女差はみられない。

③年齢別

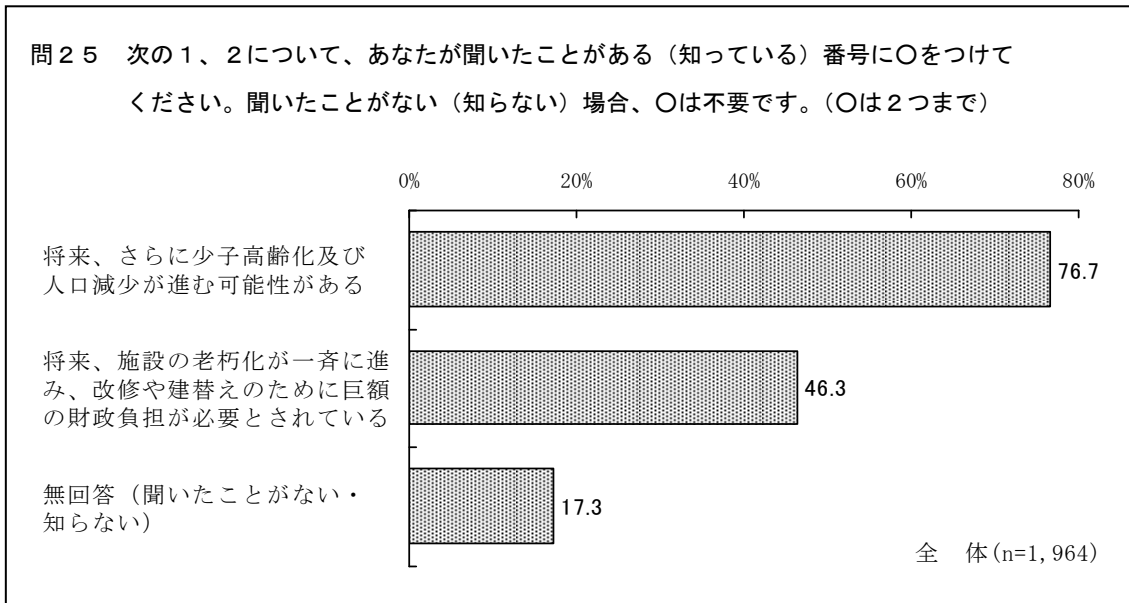
「おおむね不満なく使える」の割合は、40代以下で5割を超えて高く、75歳以上（34.5%）と65～74歳（35.9%）が低くなっている。

「わからない」の割合は、50代（32.0%）が最も高く、「施設を使ったことがない」の割合は、65～74歳（19.8%）が最も高くなっている。

図2-2 市の施設の使いやすさ（地区別／性別／年齢別）



(4) 将来の市の人口構成や建物の老朽化による財政負担についての認識



—— 8割強が「将来少子高齢化や人口減少が進む」と認識している ——

【全体結果】

将来の市の人口構成や建物の老朽化による財政負担についての認識（複数回答）については、「将来、さらに少子高齢化及び人口減少が進む可能性がある」が76.7%、「将来、施設の老朽化が一斉に進み、改修や建替えのために巨額の財政負担が必要とされている」が46.3%となっている。

【属性別結果】（図2-3参照）

①地区別

「将来、さらに少子高齢化及び人口減少が進む可能性がある」の割合は、中央区、秋葉区（各79.1%）の割合が最も高く、いずれの地区も7割を超えている。

「将来、施設の老朽化が一斉に進み、改修や建替えのために巨額の財政負担が必要とされている」の割合は、西区（52.2%）が最も高く、江南区（40.4%）が最も低くなっている。

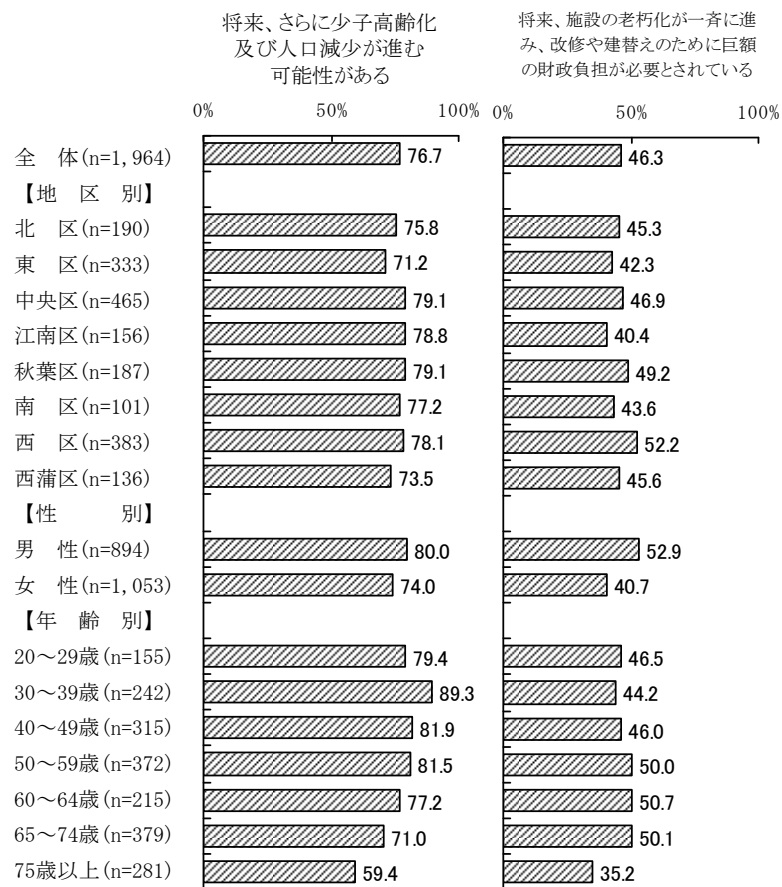
②性別

いずれの項目も、男性の方が女性よりも高くなっている。

③年齢別

「将来、さらに少子高齢化及び人口減少が進む可能性がある」の割合は、30代（89.3%）、が最も高く、75歳以上（59.4%）が最も低くなっている。

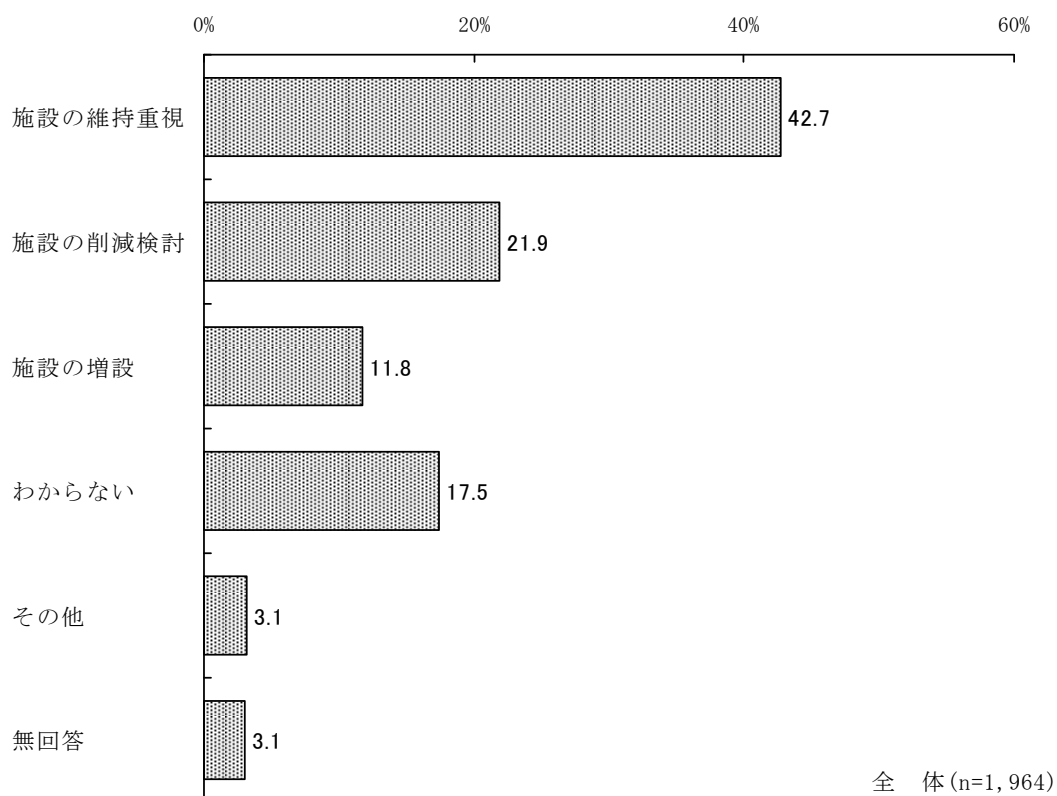
図 2-3 将来の市の人口構成や施設の老朽化による財政負担についての認識
(地区別/性別/年齢別)



(5) 今後の施設の改修、建替えについて

問26 個々の施設ではなく、施設全般についてお聞きします。

市や国の財政状況が厳しい中、新しい施設の建設や、今ある施設の改修、建替えについて、あなたはどのようにすべきと思いますか。(〇は1つだけ)



——— 今後の施設の改修、建替えは「施設の維持重視」が4割強 ———

【全体結果】

今後の施設の改修、建替えについては、「施設の維持重視」(42.7%)の割合が最も高くなっている。以下、「施設の削減検討」が21.9%、「施設の増設」が11.8%となっている。

また、「わからない」が17.5%となっている。

【属性別結果】（図 2-4 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「施設の維持重視」については、西区（47.8%）の割合が最も高く、中央区（39.6%）が最も低くなっている。

「施設の削減検討」の割合は、江南区（26.9%）が最も高く、北区（15.3%）が最も低くなっている。

「わからない」の割合は、南区（26.7%）が最も高くなっている。

②性別

「施設の削減検討」の割合は、男性（27.9%）の方が女性（17.2%）よりも高く、「わからない」の割合は、女性（20.8%）の方が男性（13.1%）よりも高くなっている。

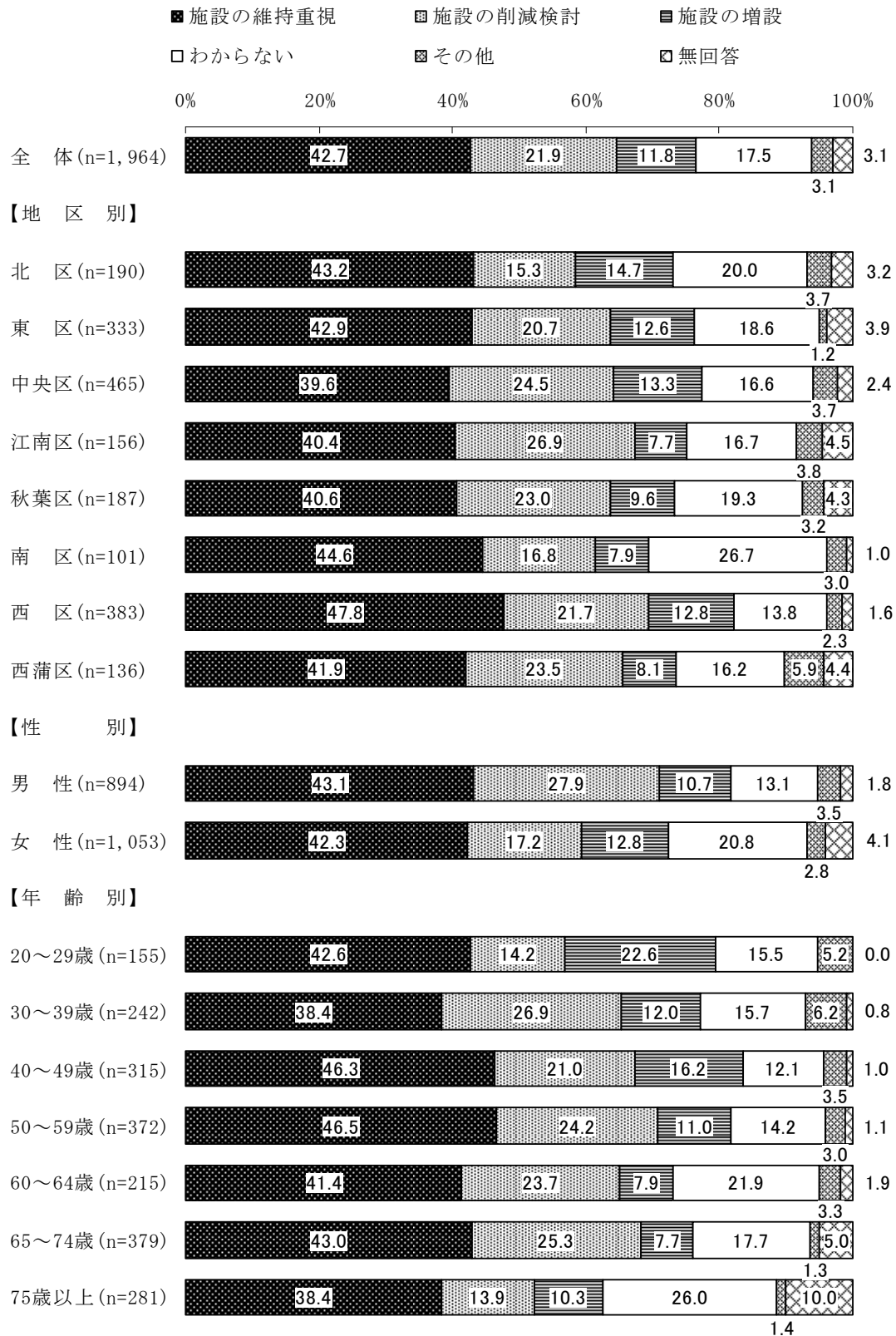
③年齢別

「施設の維持重視」の割合は、50代（46.5%）と40代（46.3%）が高く、30代と75歳以上（各38.4%）が低くなっている。

「施設の削減検討」の割合は、30代（26.9%）が最も高く、75歳以上（13.9%）が最も低くなっている。

「施設の増設」の割合は、20代（22.6%）が最も高くなっている。

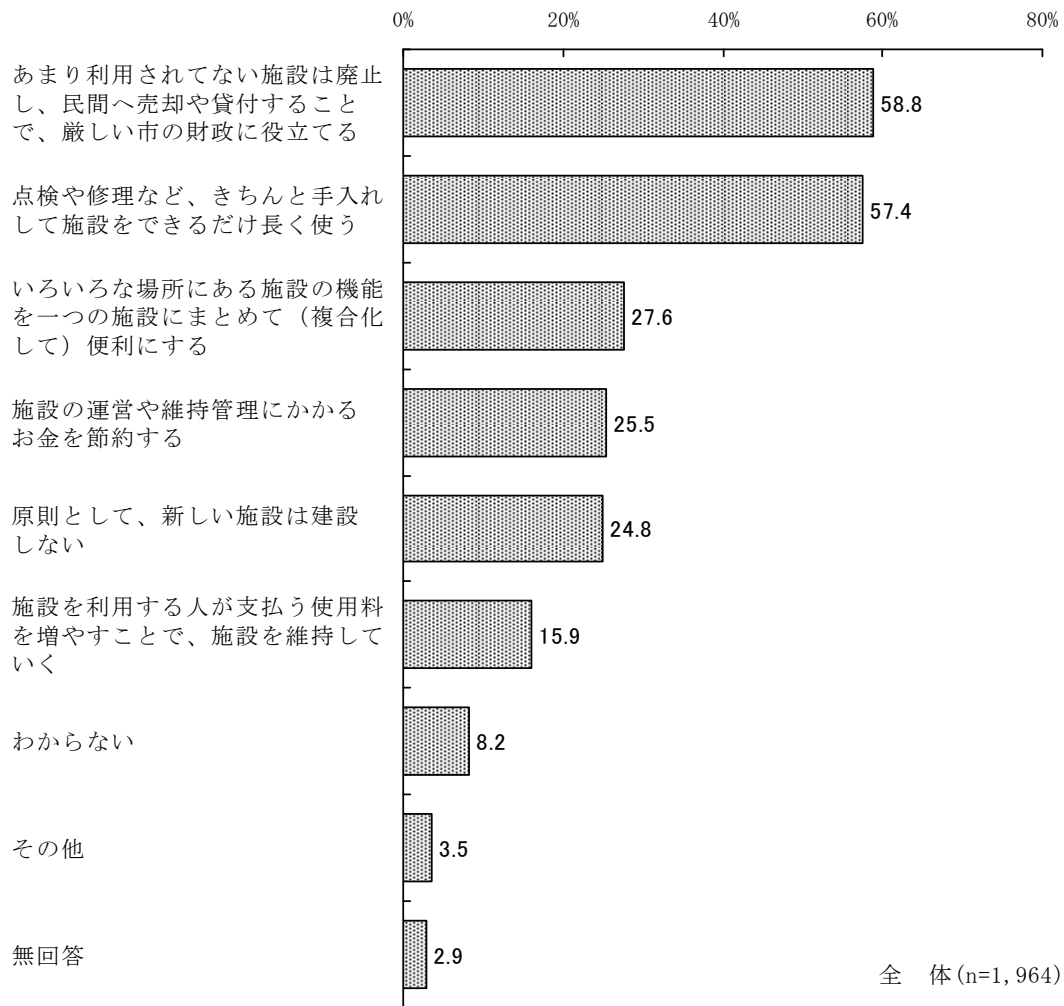
図2-4 今後の施設の改修、建替えについて（地区別／性別／年齢別）



(6) 今後の施設の維持、管理方法

問27 個々の施設ではなく、施設全般についてお聞きします。

新潟市では、厳しい財政状況の中、一部の施設管理を民間委託し、経費の節約やサービスの向上に努めていますが、あなたは、新潟市の施設を維持していくために、将来どのように取り組んでいくべきと考えますか。(〇はいくつでも)



— 「施設の廃止、民間への売却や貸与」「点検修理し長く使う」と回答 —

【全体結果】

今後の施設の維持、管理方法（複数回答）については、「あまり利用されていない施設は廃止し、民間へ売却や貸与することで、厳しい市の財政に役立てる」（58.8%）の割合が最も高く、差がなく、「点検や修理など、きちんと手入れして施設をできるだけ長く使う」（57.4%）が続いている。以下、「いろいろな場所にある施設の機能を一つの施設にまとめて（複合化して）便利にする」（27.6%）、「施設の運営や維持管理にかかるお金を節約する」（25.5%）、「原則として、新しい施設は建設しない」（24.8%）の順となっている。

【属性別結果】（図 2-5 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「あまり利用されていない施設は廃止し、民間へ売却や貸与することで、厳しい市の財政に役立てる」については、江南区(61.5%)、中央区(61.3%)、西蒲区(60.3%)の割合が高くなっている。「点検や修理など、きちんと手入れして施設をできるだけ長く使う」の割合は、西区(62.7%)が最も高くなっている。

②性別

「あまり利用されていない施設は廃止し、民間へ売却や貸与することで、厳しい市の財政に役立てる」と「施設を利用する人が支払う使用料を増やすことで、施設を維持していく」の割合は、男性の方が女性よりも高くなっている。

③年齢別

「あまり利用されていない施設は廃止し、民間へ売却や貸与することで、厳しい市の財政に役立てる」と「点検や修理など、きちんと手入れして施設をできるだけ長く使う」の割合は、50代が最も高く、75歳以上が最も低くなっている。

図 2-5 今後の施設の維持・管理方法（地区別／性別／年齢別） 1/2

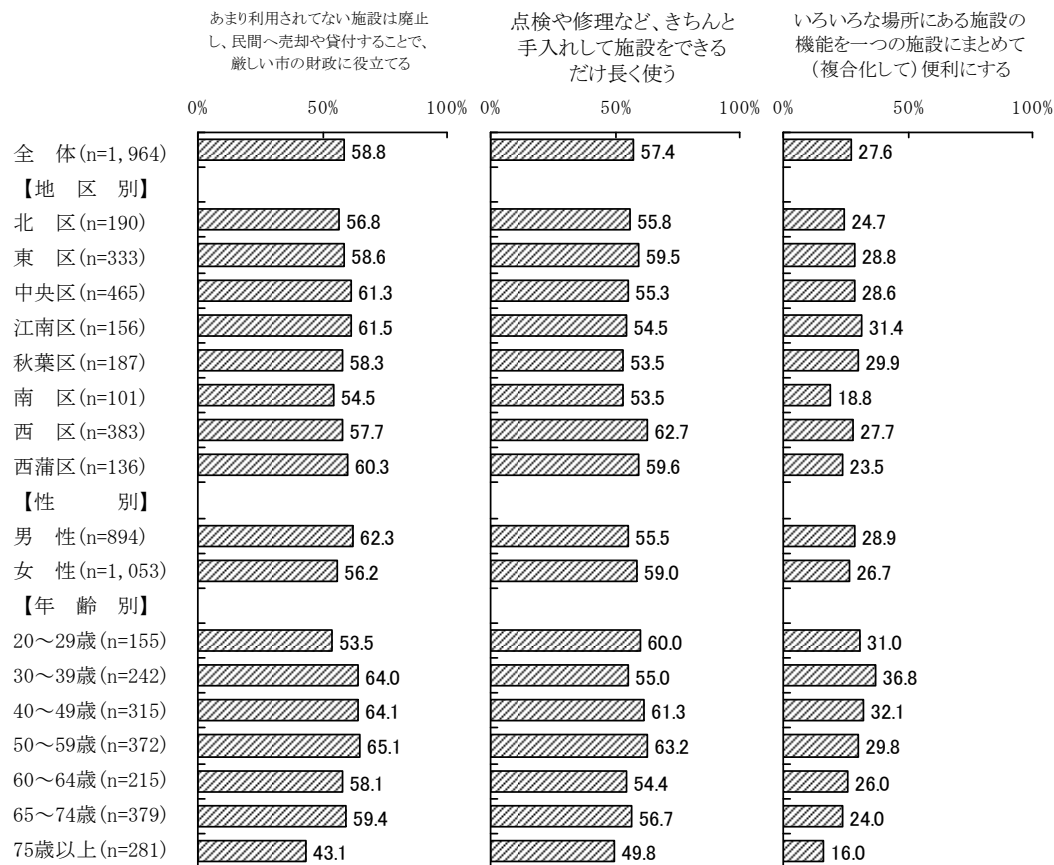
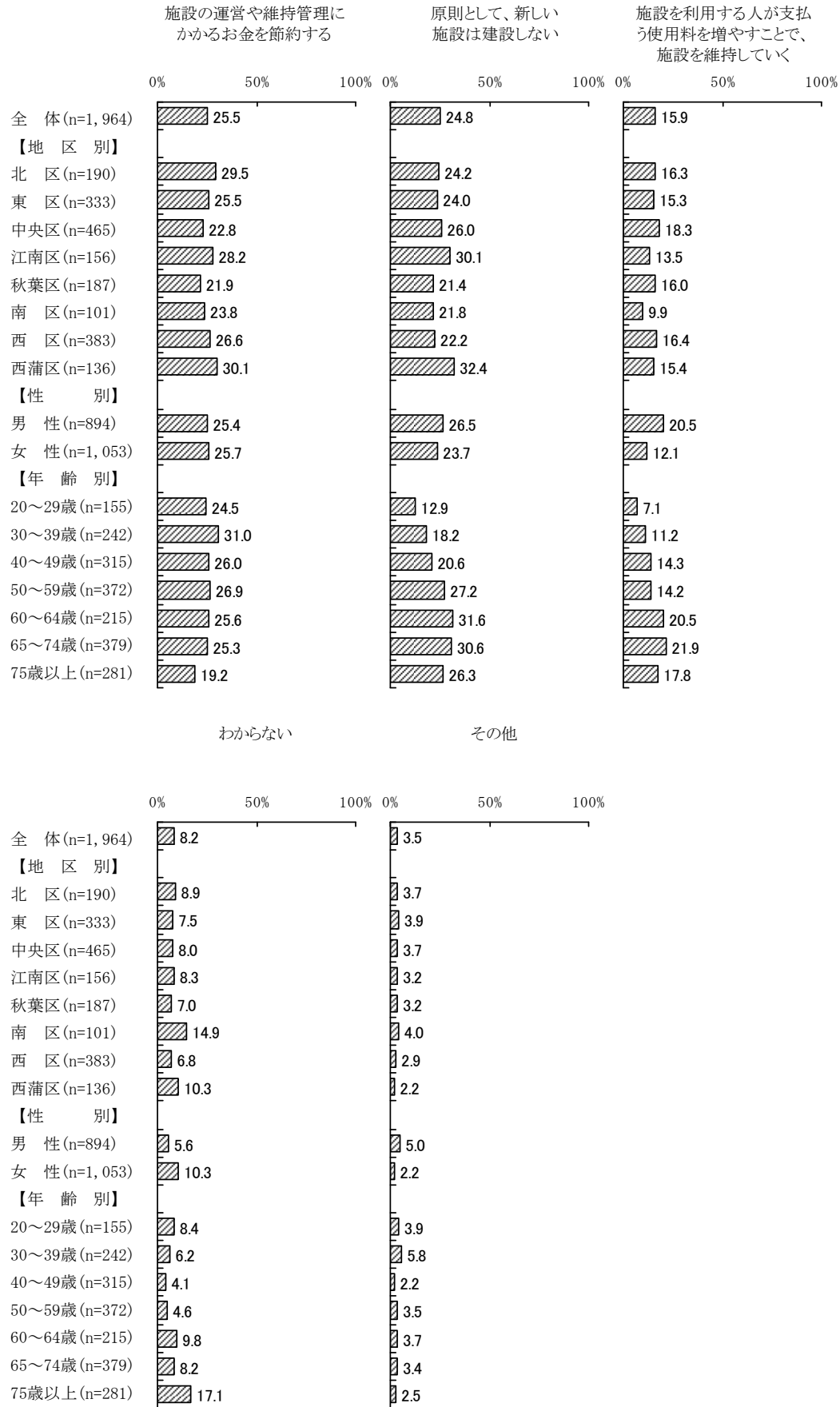


図2-5 今後の施設の維持・管理方法（地区別／性別／年齢別） 2/2

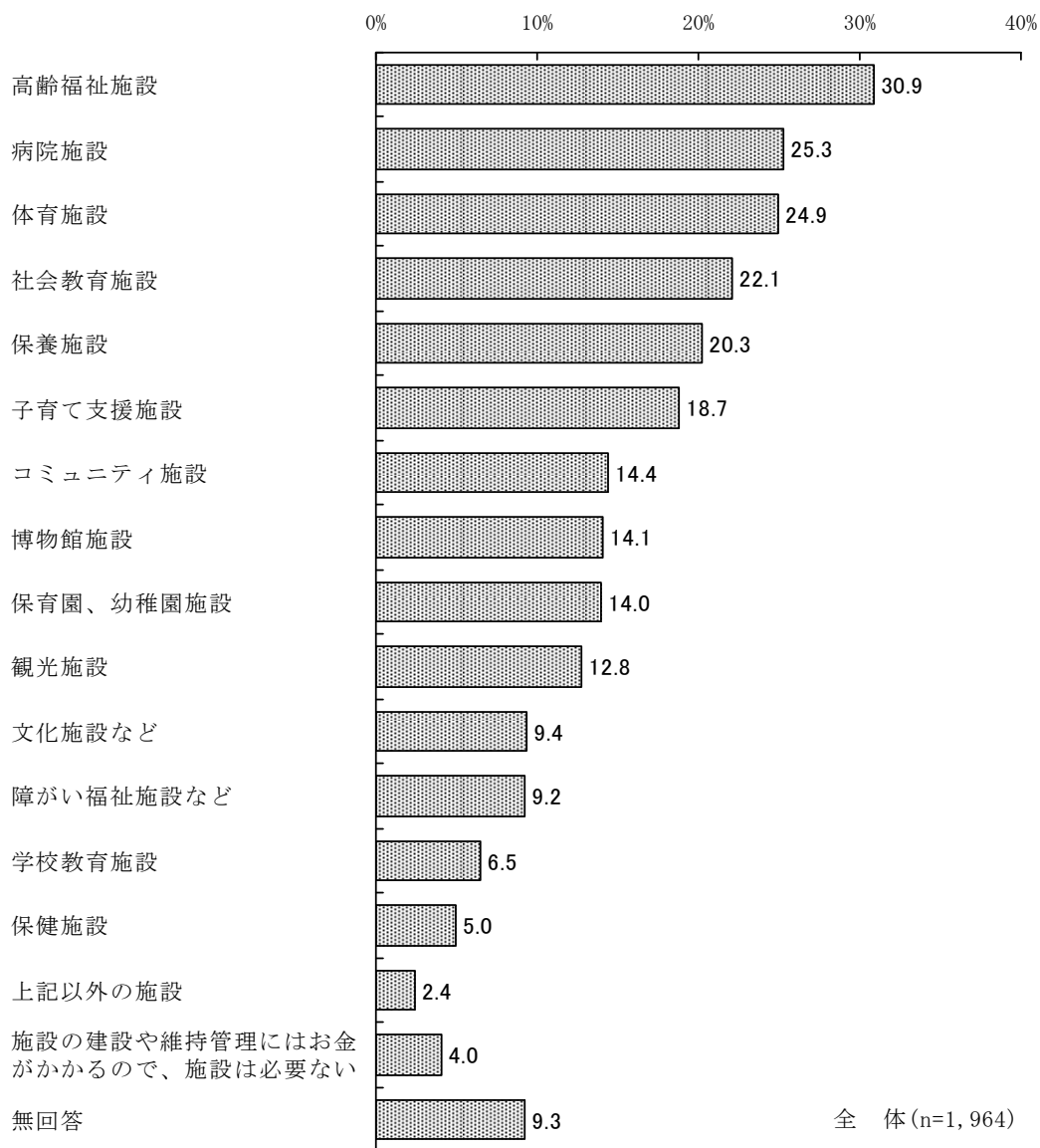


(7) 将来、市内に必要な施設

問28 あなたが将来、市内に必要な施設があれば教えてください。

(市や民間などによる整備・運営を問わない)

(〇は3つまで)



3割が将来必要な施設は「高齢福祉施設」と回答

【全体結果】

将来、市内に必要な施設（複数回答）については、「高齢福祉施設」（30.9%）の割合が最も高くなっている。以下、「病院施設」（25.3%）、「体育施設」（24.9%）、「社会教育施設」（22.1%）、「保養施設」（20.3%）が2割台が続いている。

【属性別結果】（図 2-6 参照）

①地区別

全体結果で最も割合の高かった「高齢福祉施設」については、北区（37.9%）の割合が最も高く、南区（24.8%）が最も低くなっている。

②性別

「観光施設」の割合は、男性（16.0%）の方が女性（10.1%）よりも高くなっている。

③年齢別

「高齢福祉施設」の割合は、65～74 歳（37.2%）が最も高く、30 代（21.9%）が最も低くなっている。

「病院施設」の割合は、30 代から 50 代で比較的高くなっている。

「体育施設」の割合は、20 代（32.3%）が最も高く、75 歳以上（13.9%）が最も低くなっている。

「子育て支援施設」と「保育園、幼稚園施設」は、年齢層が低い方が、割合が高い傾向がみられる。

図2-6 将来、市内に必要な施設（地区別／性別／年齢別） 2/3

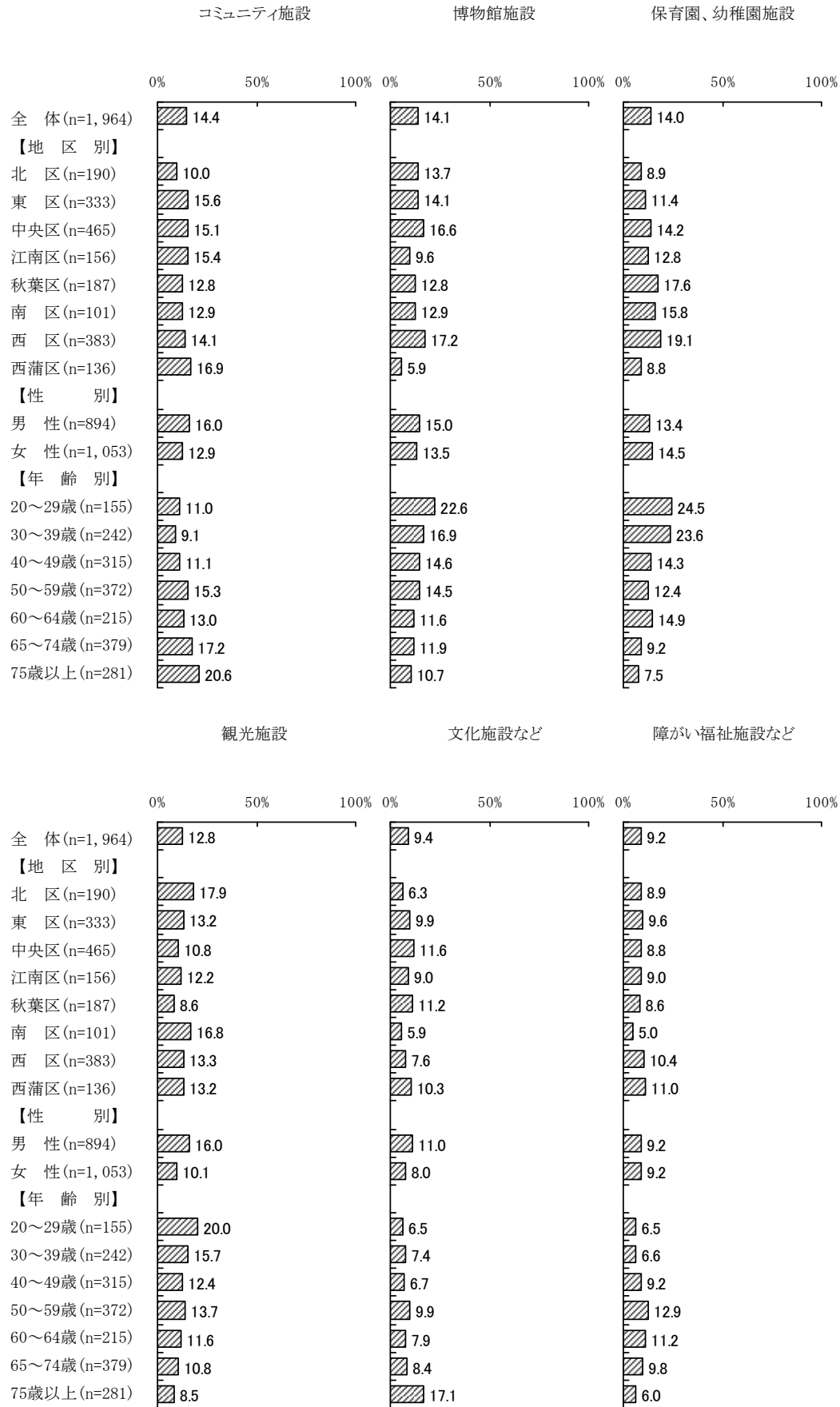
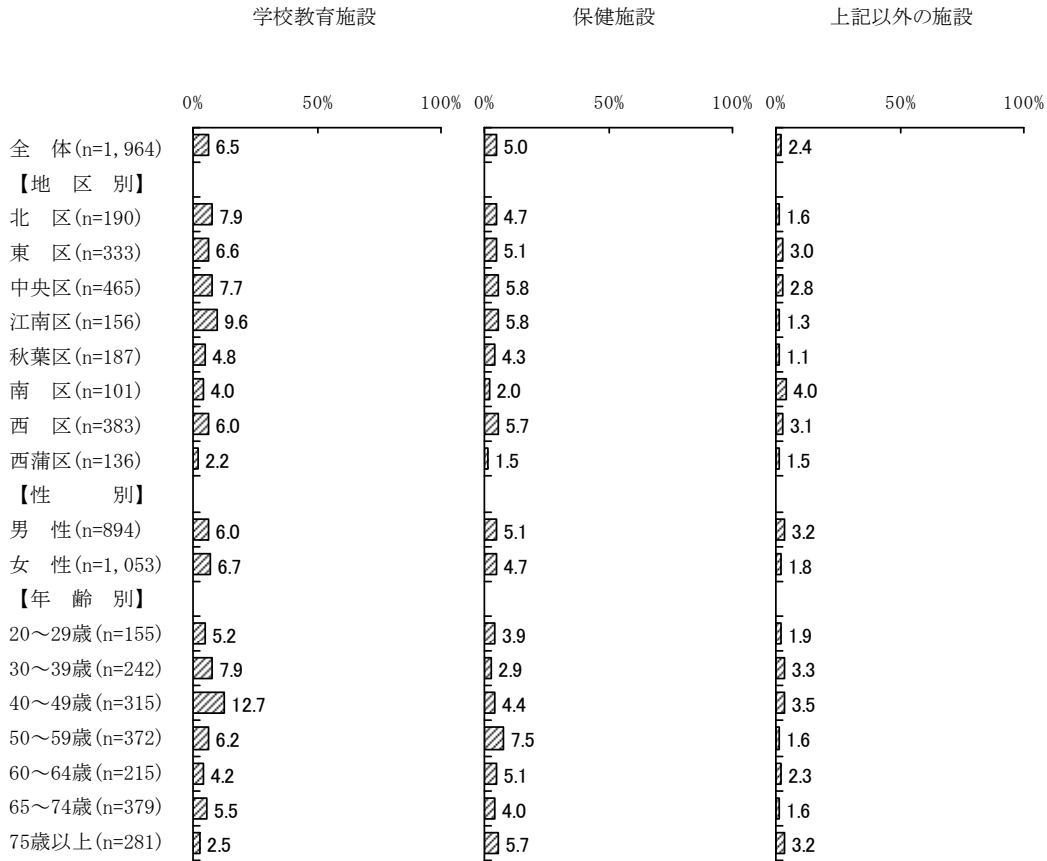


図2-6 将来、市内に必要な施設（地区別／性別／年齢別） 3/3



施設の建設や維持管理にはお金がかかるので、施設は必要ない

